

第2次 豊岡市就学前の教育・保育計画

「スタンダード・カリキュラム」

# 活用の手引き



2022 (令和4) 年 11 月

豊岡市教育委員会



## 目次

### 1 第2次 豊岡市就学前の教育・保育計画「スタンダード・カリキュラム」

#### 年齢児別 ねらい・内容にかかる活用の手引き

0歳児	・・・	P 4
1歳児	・・・	P 8
2歳児	・・・	P 12
3歳児	・・・	P 16
4歳児	・・・	P 22
5歳児	・・・	P 28

### 2 参考資料

(1) 活用の手引き策定委員名簿	・・・	P 34
(2) 活用の手引き策定委員会経過報告	・・・	P 35
(3) 作成経緯と位置づけ	・・・	P 37

## ～ これまでも これからも 大切にしたい 豊岡のめざす子ども像と子どもの姿 ～

現在、本市教育委員会では、2020(令和2)年度から「第4次とよおか教育プラン 豊岡市教育振興基本計画」において「ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成 ～非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を子どもたちに～」を基本理念とし、特色ある教育・保育を展開しています。

特に就学前においては、同年2月に策定した「第2次 豊岡市就学前の教育・保育計画『スタンダード・カリキュラム』」（以下、「カリキュラム」）に基づき、いずれの就学前施設においても、質の高い教育・保育が実践されるよう努めているところです。

このたび、本カリキュラムに掲げた「就学前においてめざす子ども像」や、各年齢児の「大切にしたい子どもの姿」をイメージしながら、各園でさらに充実した教育・保育が実践されるよう、本カリキュラムの「活用の手引き」を示すこととしました。

本手引きは、保育現場において、本カリキュラムをより有効に活用していただけるよう作成したものです。本内容を職員間で十分に共有しながら、保育実践にお役立ていただくことを期待しています。

### (1) 基本理念

ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成  
～非認知能力（やり抜く力、自制心、協働性）を子どもたちに～

### (2) 就学前において めざす子ども像

自分が大好きな子ども 夢中になって遊ぶ子ども 友達が大好きな子ども  
(自己肯定感) (挑戦意欲・健やかな体) (協同性)

### (3) めざす子ども像の実現に向け、大切にしたい子どもの姿 ～ 一人一人に寄り添って ～

0歳児…「たっぷり甘えて 泣いて 眠って」様々な欲求を表現する

1歳児…「自分で 自分で」自我や好奇心が芽生える

2歳児…「イヤイヤ」「なんで？」自我が育つ 好奇心が旺盛になる

3歳児…「おもしろそう やってみたい」興味関心がわく 経験をため込む

4歳児…「もっとやりたい これやりたい 一緒にしよう」遊び込む 夢中になる

5歳児…「それいいね 一緒にしたらもっとおもしろい」創意工夫する 協同性を発揮する

※各種計画等の位置づけは37ページ参照

豊岡の「めざす子ども像」の実現に向けて、保育者が知っておきたいことや「関わりのポイント」  
～年齢別の「大切にしたい子どもの姿」を踏まえて～

年齢児	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
大切にしたい 子どもの姿	たっぷり甘えて 泣いて 眠って	自分で 自分で	イヤイヤ なんて	おもしろそう やってみたい	もっとやりたい これやりたい 一緒にしよう	それいいね 一緒にしたら もっとおもしろい	
	様々な欲求を 表現する	自我や好奇心が 芽生える	自我が育つ 好奇心が旺盛になる	興味関心がわく 経験をため込む	遊び込む 夢中になる	創意工夫する 協同性を発揮する	
就学前において めざす子ども像	自分が大好きな 子ども (自己肯定感)	泣いて笑って 自己表現をしている	探索活動で自分を 満たしている	「イヤだ」や甘えたい姿でも 自己を発揮している	自分なりに 自己主張している	自分が大切にされて いると感じている	自分にはいいところ があると思っている
	夢中になって 遊ぶ子ども (挑戦意欲・ 健やかな体)	立つ	歩く	走る	跳ぶ	上半身と下半身を連動させる(身体をコントロール)	
		たくさん ハイハイしよう	いろいろな場所へ 散歩に出かけよう	かけっこしたり、転がったり、 バランスをとったりして たくさん遊ぼう	全身を動かして 遊ぼう	鬼ごっこをしたり、 固定遊具にふれたり して遊ぼう	できた喜びや達成感を 味わったり、いろいろなことに チャレンジしたりしよう
		0～3歳頃は、特別な運動ではなく、ハイハイしたり、歩いたり、走ったりするなど、 日常生活の中で必要不可欠な動きを十分に経験してほしい時期 【脚力発達期】			4～6歳頃は、固定遊具やマットなどを使って逆さになったり、回転したり、跳んだり するなど、胸郭周りの筋肉を使った遊びを十分に経験してほしい時期 【胸郭発達期】		
	十分なスキンシップと日常の様々な動き(感覚運動)を				十分な全身運動を	少しずつ様々な動きを組み合わせ、協応運動へ	
	体を支える(姿勢を保つなど)、構える(ボディイメージの獲得、話し手を見るなど)、調整する(見て、聞いて動くなど)						
友達が大好きな 子ども (協同性)	安心できる人がいる	大好きな人がいる	受け入れてくれる人 がいる	自分を分かって くれる人がいる 周りの友達に 気付き始める	気の合う友達や一緒 にいたいと思う友達 ができてくる	自分を出すことが できたり、 分かってもらえたりする 友達がいる	
保育者の 関わりのポイント	まずは安心感 全てを受け入れよう	好奇心を読み取ろう	共感性を働かせて 受け止めよう	自分で選んで決定 したことを認めよう	結果より過程を 具体的に認めよう	一人一人のよさを認め 合える関わりをしよう	
	<b>・笑顔</b> <b>・保育者が見本</b> <b>・丁寧な子ども理解</b>						



これらの年齢別・段階的な「子ども像」や「子どもの姿」、また「関わりのポイント」などを踏まえながら、次頁以降の「活用の手引き」をご覧ください。

**外P**  
保育する際、外したくないポイント

**考P**  
保育する際、考えたいポイント

手引きの見方	期 (4~5月)	第2次スタンダード・カリキュラム 各年齢児のめざす子ども像・ねらい・内容			4期 (1~3月)
めざす子ども像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちが安定し、身の回りのことを進んでしよう</li> <li>・身近な人、物、事象に好奇心をもち、自ら関わろうとする子</li> <li>・友達に関心をもち、自己主張しながら遊ぶ子</li> </ul>				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境に慣れ、安心して行動する。</li> <li>・遊具や玩具、身近な自然に興味をもち、遊ぶ。</li> <li>・保育者や友達に関心をもち、親しみを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でできた喜びや気持ちよさを味わう。</li> <li>・様々な素材を使って、繰り返し遊んだり、不思議さや面白さを感じたりする。</li> <li>・興味のある遊びを通して、友達と関わったり、友達のしていることに興味をもったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でできることをしようとする。</li> <li>・思い切り体を動かして遊ぶ楽しさや心地よさを味わう。</li> <li>・自分の気持ちを出しながら友達と関わろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でできることを進んでする。</li> <li>・遊びを見つけて、自分の思いを出しながら十分に楽しむ。</li> <li>・いろいろな遊びを通して、イメージを共有しながら、一緒に活動することを楽しむ。</li> </ul>	

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達と一緒に食べる中で、食べることの楽しさを味わう。①</li> <li>・園庭や固定遊具で体を動かして思い切り遊ぶ。②</li> <li>・遊具や玩具の安全な遊び方を知る。</li> <li>・基本的な生活の仕方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水の感触や心地よさを感じながら開放感が味わえる遊びを十分に楽しむ。</li> <li>・水遊びを楽しむためのきまりを知り、守ろうとする。</li> <li>・簡単な身の回りのことを自分でしようとする。③</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。②</li> <li>・遊具や用具を安全に使おうとする。</li> <li>・生活や安全に必要な簡単なきまりが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことを自分からしようとし、できたことを喜び、自信をもつ。③</li> </ul>

**視点別項目**  
第2次スタンダード・カリキュラムの「内容」を主な視点別に分類したもの

**第2次スタンダード・カリキュラムを活用するための手引き**

食べる

○食べるのが好きになるように…。①  
【動】空腹感を感じられるよう、存分に遊べる環境をつくる。  
【続】保育者や友達と一緒に安心して食事ができる雰囲気づくりをする。

※ 視点別項目の中で、特に大切にしたい、もしくは詳しく解説したい第2次スタンダード・カリキュラムの「内容」を抽出しています。(○付数字)  
抽出していない「内容」についても、ぜひ、各園で保育者の意図や願い ⇒ 環境構成や援助 ⇒ 保育のポイントやヒントなどを考えてみてください。

体を動かす

○体を動かすことを好きになるように…。②  
【動】体を動かす経験がたくさんできるように、生活や遊びを工夫する。  
【続】安心して体を動かせるよう、保育者と一緒に遊ぶ。

子どもは楽しんでますか？ 子どもの興味や関心、好きなことを大切にしましょう。子どもから「もっとやりたい!」「まだやりたい!」という声が聞かれるといいですね。子どもの動きを予測して、安心・安全な環境をつくりましょう。

生活

【動】・【続】… ○の保育者の意図や願いにかかる保育者の具体的な環境構成や援助など  
【動】… 内発的動機付けのための環境構成や援助 (保育者の意図や願いに対する子ども自身の意欲を引き出すためのポイント)  
【続】… 持続していくための環境構成や援助 (子どもの意欲や行動が持続していくためのポイント)  
(※ 0~3歳児以下については、発達の特性上、これに当てはめにくい記述があります。)

保育のポイント…保育を实践する上でのポイントやヒントになる事柄を記載しています。環境構成や援助、言葉掛け、保育の場面のポイントやヒント など

**外P (ハズピー)**  
保育する際、外したくないポイント

**考P (コウピー)**  
保育する際、考えたいポイント

ポイントやヒントを参考にして保育を考えてみましょう！そして、職員間で十分コミュニケーションをとりながら、楽しい保育をしましょう。

場合によっては、保護者の気持ちを踏まえて一緒に考えたり、協力をお願いしたりして、ゆっくり丁寧に進めていこう。

1 第2次 豊岡市就学前の教育・保育計画「スタンダード・カリキュラム」年齢児別 ねらい・内容にかかる活用の手引き

0歳児 「たっぷり甘えて 泣いて 眠って」 様々な欲求を表現する

0歳児 「たっぷり甘えて泣いて眠って」 様々な欲求を表現する

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期	おおむね4か月まで	5か月～8か月	9か月～11か月	1歳～1歳3か月	1歳4か月～1歳6か月	1歳7か月～1歳11か月
発達のためやす	<ul style="list-style-type: none"> <li>便が出ると泣いて知らせる。</li> <li>眠りと覚醒を繰り返している。</li> <li>不快や空腹で泣き、抱っこされると泣き止む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おむつが濡れると不機嫌な顔をする。</li> <li>離乳食1回食が始まる。</li> <li>左右の寝返りが出来るようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おむつを外すと喜び、おむつをするのを嫌がる。</li> <li>2回食になる。</li> <li>3回食になる。</li> <li>手づかみ食べが始まる。</li> <li>靴下を引っ張って脱ぐ。</li> <li>高いいをする。</li> <li>つかまり立ち、伝い歩きが出来る。</li> <li>一人ですべる。</li> <li>指差しが始まる。</li> <li>一語文が言える。</li> <li>知っている物を指差したり名前を言ったりする。</li> <li>人の真似が始まる。</li> <li>外遊びに興味をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>完了期食になる。</li> <li>手づかみとスプーンで並行して食べる。</li> <li>ズボン、パンツを脱ごうとする。</li> <li>一人で歩ける。</li> <li>知っている物を指差したり名前を言ったりする。</li> <li>二語文が始まる。</li> <li>語彙が増えてくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>便器に座らせると排泄する事がある。</li> <li>コップを自分で持ち、こぼさずに飲む。</li> <li>スプーンで上手に食べる。</li> <li>帽子をかぶる。</li> <li>階段を歩いて登る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の生活リズムで安心して過ごす。</li> <li>環境との関わりの中で、様々なものに好奇心をもつ。</li> <li>保育者との信頼関係を深める。</li> </ul>
生命の保持と情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の家庭での生活を大事にしなが、保護者との連携を図り、保健的で安全な環境の中で、快適に過ごせるようにする。</li> <li>保育者と応答的に関わる中で、一人一人の様々な欲求（食べる、飲む、眠る、遊ぶ）や甘えたい気持ちを十分に満たし、安心して過ごせるようにする。</li> </ul>					

期	おおむね4か月まで	5か月～8か月	9か月～11か月	1歳～1歳3か月	1歳4か月～1歳6か月	1歳7か月～1歳11か月
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>生理的欲求を十分に満たしてもらい、気持ちよく過ごす。①</li> <li>個々に応じた生活リズムにそって、飲んだり眠ったりする。①</li> <li>保育者に身の回りを清潔にしてもらい、心地よさを感じる。①</li> <li>おむつを交換してもらい、きれいになった心地よさを感じる。①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>舌でつぶせるような固さの物が食べられるようになる。③</li> <li>ずりばいなどで動き、十分に体を動かす。⑤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手づかみで離乳食を食べようとする。②③</li> <li>はいはいや伝い歩きで、探索活動を楽しむ。⑥</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の生活リズムで、安心してぐっすり眠る。①</li> <li>保育者に援助されながら、簡単な衣類を脱ごうとする。②</li> <li>保育者に援助されながら、手づかみやスプーンで食べようとする。②④</li> <li>歩行ができるようになり、探索活動を十分に楽しむ。⑥</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘われてトイレに行き、便器に座ろうとする。②</li> <li>ゆったりとした雰囲気の中でいろいろな食べ物に興味をもち、食べることを楽しむ。④</li> <li>段差の登り降りなど全身を使った遊びを楽しむ。</li> </ul>	

食べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもは大好きな保育者を心のよりどころにして安心します。</li> <li>家庭状況や発育状態を家庭と職員で共有することが大切です。無理のないように進めていきましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空腹の具合や食べたい気持ちを大切にしましょう。</li> <li>食事に向かう姿を家庭と共有することが大切です。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな食べ物に慣れるように…。③</li> <li>【動】安心できる環境の中で、食に対する欲求を受け止めていく。</li> <li>【続】いろいろな食品や調理形態に慣れるよう、家庭や調理室職員と連携をとる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食べることを楽しめるように…。④</li> <li>【動】一人一人のペースに合わせてながら、保育者がゆったりと関わる。</li> <li>【続】子どもの育ちに合わせて、楽しみながら食事に向かえるよう、環境を工夫する。</li> </ul>

・どんな姿から子どもの食べたい気持ちを読み取る？

・子どもが食べやすそうにしているか、どこを見る？  
 > 机や椅子の高さは合っている？  
 > 食材の大きさはどう？ など

安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人が心地よく生活できるように…。①</li> <li>【動】一人一人の生活リズムを大切にできるような生活環境をつくる。</li> <li>【続】温かく応答的な関わりをしながら、様々な要求を満たしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の生活リズムを知るためには、家庭との連携が大切です。</li> <li>スキンシップをとったり、優しい言葉を掛けたりして、子どもとの信頼関係をつくりましょう。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分でしようとする気持ちが芽生えるように…。②</li> <li>【動】できた喜びが味わえるよう、一人一人のペースに合わせて援助する。</li> <li>【続】自分でしようとする気持ちを受け入れ、ゆとりをもって関わる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの様子や気持ちを家庭と共有しましょう。</li> <li>成功体験につながったり、嬉しい気持ちを感じられたりするよう、どんな場面をつくり、言葉を掛けたりする？</li> </ul>

・一人一人の生活リズムを踏まえて、その子が安心して過ごせるように、どんな環境を準備する？

体を動かす	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの動きに合わせた、安全な空間を確保しましょう。</li> <li>安心して体を動かせるようにどんな環境を整える？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○十分に体が動かせるように…。⑤</li> <li>【動】一人一人の発達の状態を把握し、十分に体が動かせる環境を整える。</li> <li>【続】温かく共感的な関わりをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○探索活動を十分に楽しめるように…。⑥</li> <li>【動】いろいろなことに興味や関心が広がるよう、環境を整える。</li> <li>【続】子どもの姿を見守りながら、気づき、発見を受け止め、共感する。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の発達の状態を職員で共有しましょう。</li> <li>やりたい気持ちを認め、大切にしましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全面にも細やかな配慮をしよう。どんなことに気を付ける？              &gt; 誤飲、転落・転倒（物品含む）、隙間、ロープ など</li> </ul>

0歳児 「たっぷり甘えて泣いて眠って」 様々な欲求を表現する

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期	おおよね4か月まで	5か月～8か月	9か月～11か月	1歳～1歳3か月	1歳4か月～1歳6か月	1歳7か月～1歳11か月
内容	<p>身近な人と気持ちが通じ合う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安心できる環境の中で、保育者に抱かれ、心地よさを感じる。</li> <li>優しく語りかけられると喜ぶ。</li> <li>「アー」「ウー」と盛んに声や喃語を出し、相づちを打ってもらうことで話す楽しさを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>欲求を保育者に受け止めてもらい、より安心感をもって関わろうとする。</li> <li>保育者との関わりを喜び、自分から喃語や身振りで意思や欲求を伝えようとする。②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他児の存在に興味を示す。</li> <li>指差しや喃語を優しく受け止めてもらい、保育者とのやり取りを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者の言葉掛けが分かり、行動しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者と一緒に安心して好きな遊びをする。</li> <li>保育者や友達のしていることに興味をもつ。①</li> <li>思いや感情を自分なりに表現しようとする。③</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友達のしていることに興味をもつ。①</li> </ul>
安心	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>○自分の思いや欲求を伝えようとする意欲が育つように…。②</p> <p>【動】 思いや欲求を受け止め、安心感をもって過ごすことができるよう、環境を整える。</p> <p>【続】 言葉にならない気持ちを汲み取り、言葉に置き換えながら応答的に関わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安心感のある環境を整えるには何に配慮する？                     <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 保育者の関わり、時間、空間、玩具 など</li> </ul> </li> <li>タイミングよく応えるために、どうすれば子どもの思いや欲求を汲み取ることができるかな？                     <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 身振りや表情をよく見る</li> <li>➢ 声や喃語をよく聞く</li> <li>➢ 泣く、ぐするなどの様子の前に何があったか、探ってみる など</li> </ul> </li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p>○自分の思いや気持ちが満たされ、友達に興味をもてるように…。①</p> <p>【動】 一人一人の思いや気持ちを受け入れながら、信頼関係をつくる。</p> <p>【続】 友達と同じ空間で遊んだり、生活したりできるような環境を構成する。</p> <p>○自分の思いを言葉や身振りで伝えることができるように…。③</p> <p>【動】 子どもの気持ちを汲み取り、分かち合える温かい関係をつくる。</p> <p>【続】 応答的なやり取りを重ね、伝わった喜びが感じられるように関わる。</p> </div> </div>					

・安心して過ごすためには、子どもにとって、大好きな保育者は欠かせません。  
・子どもの姿をよく見て、子どもの思いや欲求にタイミングよく応えることが大切です。

・友達に興味をもてるようになるには、まずは保育者との信頼関係のもと、気持ちが十分に満たされていることが欠かせません。

・友達に興味をもっているか、まだもっていないか、どんなところを見て読み取る？  
➢ 遊んでいる姿、視線 など

・保育者の表情、声色など、温かい受け止めや語り掛けが大切です。  
・安心しているからこそ、声や身振りで表現できます。  
・「いや！」も大切な表現です。

・子どもが自分の思いを分かってもらえたという安心感につながるよう、子どもの思いや姿を言葉にしてみよう。

0歳児 「たっぷり甘えて泣いて眠って」 様々な欲求を表現する

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期	おおよそ4か月まで	5か月～8か月	9か月～11か月	1歳～1歳3か月	1歳4か月～1歳6か月	1歳7か月～1歳11か月
内容	<p>身近なものに関わり感性が育つ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆっくりと動くものを注視する。</li> <li>風や陽の光に反応し、目を細めたり、手足を活発に動かしたりする。</li> <li>身近なものを握ったり、持ち替えたり、なめたりする。①</li> <li>目的のものを手にすることを繰り返し楽しむ。②</li> <li>身近なものを積極的に触り、遊ぼうとする。①②</li> <li>つまむ、つかむ、たたく、出し入れするなど手や指を使って遊ぶ。</li> <li>歌やリズムに合わせて手足や体をゆらして遊ぶ。⑤</li> <li>保育者と一緒に絵本などを見る。</li> <li>散歩に行き、身近な自然に触れる。</li> <li>様々な遊具、玩具に興味をもち、触ったり、使ったりして遊ぼうとする。③</li> <li>見る、聞く、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚を伴う遊びを楽しむ。④</li> <li>保育者と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、体を動かしたりして楽しむ。⑤</li> <li>絵本など見たり、聞いたりしようとする。</li> <li>身近な自然に興味をもち、見たり、触れたりする。⑥</li> </ul>					
感覚	<p>○いろいろな感覚が味わえるように…。①</p> <p>【動】遊びの空間に様々な感覚が刺激されるようなものを配置する。</p> <p>【続】子どもが触ったものの感触を保育者も一緒に味わいながら遊ぶ。</p> <p>・保育者が表情豊かに、子どもと一緒に繰り返し遊びを楽しむことが大切です。</p> <p>・清潔で安全な玩具を準備しましょう。</p> <p>・玩具を選ぶポイントを考えよう。</p> <p>➢ 手触り、色合い、大きさ、持ちやすさ、音色 など</p> <p>・子どもが触ったものの感触を言葉にしよう。</p> <p>○いろいろな感覚が味わえるように…。④</p> <p>【動】五感を働かせる直接体験ができるような機会をもつ。</p> <p>【続】子どもが感じたことに寄り添い、共感する。</p> <p>・保育者は普段から五感を働かせるようにしましょう。</p> <p>・子どもは様々な感覚の刺激や体験を通して、心身の感覚を豊かにします。</p> <p>・戸外では直接体験できることがたくさんあるね。室内ではどんな直接体験ができる？</p> <p>・子どもが感じたことを読み取り、言葉にしよう！</p>					
興味	<p>○身近なものに親しめるように…。②</p> <p>【動】いろいろなものを見たり、聞いたり、触れたりできるよう、環境を工夫する。</p> <p>【続】子どもが興味をもったものを受け止め、寄り添った言葉を掛ける。</p> <p>・子どもの姿をよく見ましょう。</p> <p>・一人一人の興味に応じて、思いのままに動けたり、やってみたりできるような環境を考えよう。</p> <p>○表現することを楽しめるように…。⑤</p> <p>【動】子どもが興味をもって表現できるように環境を工夫する。</p> <p>【続】子どもの姿を温かく受け止めながら関わる。</p> <p>・保育者も一緒に楽しみましょう。</p> <p>・楽しく表現できる環境には何か必要な？</p> <p>➢ 安全な場所、保育者の笑顔、なじみのある音楽 など</p> <p>・安全面や衛生面の配慮をしましょう。</p> <p>・動植物の特性を知っておきましょう。</p> <p>➢ マムシ、かぶれの木、カメ、蚊・フト など</p> <p>○身近な自然に触れて楽しめるように…。⑥</p> <p>【動】身近な生き物や草花に触れる機会をもつ。</p> <p>【続】保育者も一緒に親しみをもち、見たり、触れたりして関わる。</p> <p>・身近な自然に触れるために、どんなことを知っておくといい？</p> <p>➢ どこに、どんな花が咲いている（咲く）？</p> <p>➢ どこに、どんな虫が出ている（出る）？ など</p>					

1歳児 「自分で 自分で」 自我や好奇心が芽生える

# 1歳児 「自分で 自分で」 自我や好奇心が芽生える

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
めざす子ども像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや気持ちを表現する子</li> <li>・様々な体の動きを経験し、体を動かして遊ぶ子</li> <li>・安心できる環境の中で、身近な人や様々なものに興味や関心をもつ子</li> </ul>			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した生活リズムの中で、保育者に様々な欲求を受け止めてもらいながら、安心して過ごす。</li> <li>・身近なものに興味をもち探索活動を楽しむ。</li> <li>・保育者との関わりの中で好きな遊びをする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に援助されながら、簡単な身の回りのことをしようとする。</li> <li>・保育者と一緒に体を動かして遊ぶ。</li> <li>・生活や遊びを通して、友達に関心をもつ。</li> </ul>	
生命の保持と情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の健康状態や発育、発達状態を把握し、生活リズムを大切にしながら、快適に過ごせるようにする。</li> <li>・一人一人の思いや気持ちを受け止め、安心して自分を表すことができるようにする。</li> </ul>			

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の生活リズムで、安心してぐっすり眠る。</li> <li>・ゆったりとした雰囲気の中で、いろいろな食べ物に興味をもち、食べることを楽しむ。①</li> <li>・保育者に援助されながら、手づかみやスプーンで食べようとする。①②</li> <li>・保育者に援助されながら、簡単な衣類を脱ごうとする。②</li> <li>・おむつを交換してもらい、きれいになった心地よさを感じる。</li> <li>・身近なものに興味をもち、探索活動をする。③</li> <li>・段差の登り降りなど全身を使った遊びを楽しむ。</li> </ul>			
食べる	<p>○食べることを楽しめるように…。①</p> <p>【動】一人一人のペースに合わせてながら、保育者がゆったりと関わる。</p> <p>【続】子どもの育ちに合わせて、楽しみながら食事に向かえるよう、環境を工夫する。</p> <p>・空腹の具合や食べたい気持ちを大切にしましょう。</p> <p>・食事に向かう姿を家庭と共有することが大切です。</p> <p>・自分で食べたい気持ちを満たすために、どんなことに配慮する？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 一人一人（の気持ち）に寄り添っているかな？（食欲、咀嚼力など）</li> <li>➢ 食具（スプーンやフォークなど）の選び方は合っているかな？</li> <li>➢ 机や椅子の高さは合っているかな？ など</li> </ul>			
身の回り	<p>○自分でしようとする気持ちが芽生えるように…。②</p> <p>【動】できた喜びが味わえるよう、一人一人のペースに合わせて援助する。</p> <p>【続】自分でしようとする気持ちを受け入れ、ゆとりをもって関わる。</p> <p>・子どもの様子や気持ちを家庭と共有しましょう。</p> <p>・「自分でしてみたい、またしたい」と思えるような言葉掛けを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 「がんばってるね」、「やったね」、「かっこいいね」、「(万歳しながら) すごい！」 など</li> </ul>			
体を動かす	<p>○探索活動を十分に楽しめるように…。③</p> <p>【動】いろいろなことに興味や関心が広がるよう、環境を整える。</p> <p>【続】子どもの姿を見守りながら、気づき、発見を受け止め、共感する。</p> <p>・1歳児なりの探索活動を楽しむためには、全身を使った様々な動きを経験することが大切です。</p> <p>・一人一人の発達の状態を職員で共有しましょう。</p> <p>・保育者も一緒に全身を使って遊びましょう。</p> <p>・安全面にも細やかな配慮をしよう。どんなことに気を付ける？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 誤飲、転落・転倒（物品含む）、隙間、ロープ など</li> </ul>			

1歳児 「自分で 自分で」 自我や好奇心が芽生える

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期		1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内 容	身近な人と 気持ちが通じ合う	II 人と関わる力			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者との関わりの中で、思いや気持ちを受け止めてもらい安心して過ごす。①</li> <li>・保育者と一緒に、安心して好きな遊びをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達のしていることに興味をもつ。①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達のしていることを真似て遊ぶ。①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の仲立ちで友達と関わりながら一緒に遊ぼうとする。</li> <li>・保育者や友達と一緒に見立て遊びやつもり遊びを楽しむ。</li> </ul>
安心・身近な人		<p>○自分の思いや気持ちが満たされ、友達に興味をもてるように…。①</p> <p>【動】一人一人の思いや気持ちを受け入れながら、信頼関係をつくる。</p> <p>【続】友達と同じ空間で遊んだり、生活したりできるような環境を構成する。</p>			
		<p>・友達に興味をもてるようになるには、まずは保育者との信頼関係のもと、気持ちが十分に満たされていることが欠かせません。</p>			
		<p>・子どものしたい遊びを友達や保育者と一緒にするためには、どんな環境(人・物・空間)を構成する？</p>			

期		1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内 容	身近な人と 気持ちが通じ合う	III 思いを伝える力			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いや感情を自分なりに表現しようとする。①</li> <li>・挨拶を身振りや言葉でしようとする。</li> <li>・絵本などを見たり、聞いたりしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の言葉掛けが分かり、行動しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いを表情や身振りや自分なりの言葉で伝えようとする。①</li> <li>・好きな絵本を繰り返し見たり、聞いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本を読んでもらうことを喜び、繰り返しのある言葉の模倣を楽しむ。</li> </ul>
言葉		<p>○自分の思いを言葉や身振りで伝えることができるように…。①</p> <p>【動】子どもの気持ちを汲み取り、分かち合える温かい関係をつくる。</p> <p>【続】応答的なやり取りを重ね、伝わった喜びが感じられるように関わる。</p>			
		<p>・保育者の表情、声色など、温かい受け止めが大切です。</p> <p>・子どもの思いや感情を汲み取り、言葉に変えて応答的なやり取りを楽しみましょう。</p> <p>・「いや！」も大切な表現です。</p>			
		<p>・日常生活や遊びの中で自分なりに表現したり、1歳なりのやり取りをしたりしている場面はどんなところで見られる？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 「抱っこして」</li> <li>&gt; 「貸して」「いいよorダメよ」</li> <li>&gt; 「どうぞ」「ありがとう」 など</li> </ul>			

1歳児 「自分で 自分で」 自我や好奇心が芽生える

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期		1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	身近な人と 気持ちが通じ合う	IV 自然や 身近な環境に 関わる力	・自分の物と人の物の区別ができるようになる。	・水、砂、土などの感触を味わう。①	・自分の物と人の物の区別ができるようになる。
	身近なもの 関わり感性が育つ		・身近な自然に興味をもち、見たり、触れたりする。① ・様々な玩具、遊具に興味をもち、触ったり、使ったりして遊ぶ。②	・秋の自然に触れながら、探索活動を楽しむ。①	・季節の行事を取り入れた生活や遊びを経験する。
身近な自然		<p>○身近な自然に触れて楽しめるように…。① 【動】身近な生き物や草花に触れる機会をもつ。 【続】保育者と一緒に親しみをもち、見たり、触れたりして関わる。</p> <p>・遊ぶ姿の中から、視線や表情などをよく観察し、子どもの発見や思いを読み取りましょう。 ・安全面や衛生面の配慮をしましょう。 ・動植物の特性を知っておきましょう。 ➢ マムシ、かぶれの木、カメ、蚊・フト など</p> <p>・自然の中には興味や関心を引くものがたくさんあります。子どもの視線の先には何かがある？ 探ってみよう。 ・身近な自然に触れるために、どんなことを知っておくといい？ ➢ どこに、どんな花が咲いている（咲く）？ ➢ どこに、どんな虫が出ている（出る）？ など</p>			
身近なもの		<p>○身近なものを使った遊びを楽しめるように…。② 【動】いろいろなものに自ら触れ、それらで繰り返し遊べるよう、環境を工夫する。 【続】子どもの興味を大切に、共感的に関わる。</p> <p>・したい遊びが存分にできる、時間と保育者の心のゆとりが大切です。</p> <p>・発達に合わせた形や大きさ、素材、重さ、数などを考えよう。</p>			

期		1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	身近なもの 関わり感性が育つ	V 感性豊かに 表現する力	・見る、聞く、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚を伴う遊びを楽しむ。① ・たたく、つまむ、転がすなど手や指を使った遊びをする。	・ちぎる、引っ張る、押す、つまむなど手や指を使った遊び を楽しむ。	・いろいろな素材に触れ、見立てて遊ぶ。
	関わり感性が育つ		・音楽や保育者の歌に合わせて、体を動かす楽しさを感じる。②	・保育者と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、体を動かしたりして楽しむ。②	
感覚		<p>○いろいろな感覚が味わえるように…。① 【動】五感を働かせる直接体験ができるような機会をもつ。 【続】子どもが感じたことに寄り添い、共感する。</p> <p>・保育者は普段から五感を働かせるようにしましょう。 ・子どもは様々な感覚の刺激や体験を通して、心身の感覚を豊かにします。</p> <p>・直接体験を子どもの感性を育てることにつなげるために、どんな関わりをする？ ➢ 体験していることを言葉にする ➢ 共感する など</p>			
表現		<p>○表現することを楽しめるように…。② 【動】子どもが興味をもって表現できるように環境を工夫する。 【続】子どもの姿を温かく受け止めながら関わる。</p> <p>・保育者も音楽に合わせて体を動かしたり、声を出したりして楽しみましょう。 ・手遊びもたっぷりしましょう。</p> <p>・楽しく表現できる環境には何かが必要？ ➢ 保育者の笑顔 ➢ 保育者の肯定的な言葉掛け ➢ なじみのある歌や音楽 など</p>			

2歳児 「イヤイヤ」「なんで？」 自我が育つ 好奇心が旺盛になる

## 2歳児 「イヤイヤ」「なんで？」 自我が育つ 好奇心が旺盛になる

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
めざす子ども像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者との関わりの中で、自分でできることが増え、身の回りのことを自分でしようとする子</li> <li>・安心して生活を送る中で、自分の思いを表現し、十分に自己発揮していく子</li> <li>・生活や遊びの中で、身近な人と関わり合いながら、一緒に過ごすことを楽しむ子</li> </ul>			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境や生活リズムに慣れ、保育者との関わりの中で安心して過ごす。</li> <li>・保育者に見守られながら、自分のしたい遊びを楽しむ。</li> <li>・生活や遊びを通して、友達に親しみをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に援助されながら、身の回りのことをしようとする。</li> <li>・様々な素材に触れて、全身を使って遊ぶ。</li> <li>・生活や遊びの中で、友達と関わろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に見守られ、補助されながら、自分で身の回りのことをしようとする。</li> <li>・保育者や友達と一緒に十分に体を動かして遊ぶ。</li> <li>・保育者の仲立ちにより、友達と一緒にすることを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に見守られながら、自分で身の回りのことをしようとする。</li> <li>・いろいろな遊びの中で、十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・保育者や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>
生命の保持と情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔で安全な環境を整え、一人一人の子どもが意欲的に生活できるようにする。</li> <li>・一人一人の子どもの気持ちを受容し、共感しながら、信頼関係を深める。</li> <li>・自分がかげがえのない存在であるという自己肯定感の芽生えを育むように、一人一人を大切にすること。</li> </ul>			

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆったりとした雰囲気の中で、保育者や友達と一緒に食事を楽しむ。①</li> <li>・身の回りの清潔や安全な生活に必要な習慣が少しずつ身に付くようになる。②</li> <li>・保育者に援助されながら、衣類の着脱を自分でしようとする。</li> <li>・誘われてトイレに行き、排泄しようとする。</li> <li>・体を動かして遊ぶことを楽しむ。③</li> </ul>			
食べる	<p>○食べることを楽しめるように…。①</p> <p>【動】一人一人のペースに合わせながら、食べようとする意欲を大切にすること。</p> <p>【続】子どもの育ちに合わせ、友達と楽しみながら食事に向かえるよう、環境を工夫すること。</p> <p>・楽しい食事の時間にしましょう。和やかな雰囲気づくり、保育者の笑顔、ほめる言葉掛けを意識しましょう。</p> <p>・一人一人の育ちをよく見て、大らかに対応しましょう。</p> <p>・友達と一緒に食事をすると楽しいと思えるような言葉掛けを考えよう。</p> <p>・楽しく食べる環境をつくるためにどんなことに配慮する？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 友達や異年齢など、誰と一緒に食べるか</li> <li>➢ 場所や配置</li> <li>➢ 保育者の関わり など</li> </ul>			
身の回り	<p>○自分でしようとする気持ちが育つように…。②</p> <p>【動】自分でできた満足感を味わえるように、子どもの姿を見守ったり、認めたりすること。</p> <p>【続】自分で試したり、挑戦したりする姿を認め、温かく長い目で見守っていくこと。</p> <p>・子どもの様子や気持ちを家庭と共有しましょう。</p> <p>・一人一人のペースを尊重しながら、じっくりと取り組める空間や時間を保障しましょう。</p> <p>・子どもがしようとしている姿を見つけて（捉えて）、どんな声を掛ける？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 「自分で(一人で)できたね」、「がんばってるね」、「(子どもの姿を言葉にして)、すごいね」 など</li> </ul>			
体を動かす	<p>○伸び伸びと体を動かすことを楽しめるように…。③</p> <p>【動】一人一人の興味や関心に合わせた遊びができるよう、環境を工夫すること。</p> <p>【続】子どもがやってみようとする気持ちを大切にしながら、保育者も一緒に遊ぶこと。</p> <p>・子どもの動きを予測して、安心・安全な環境をつくりましょう。</p> <p>・一人一人の発達段階を把握しましょう。</p> <p>・体を動かしたくなる環境をつくるために、どんなことに配慮する？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 子どもの興味や関心に合っている？</li> <li>➢ 楽しい雰囲気になっている？</li> <li>➢ 存分に遊べる空間になっている？</li> <li>➢ 一緒に体を動かしてくれる人はいる？ など</li> </ul>			

2歳児 「イヤイヤ」「なんで？」 自我が育つ 好奇心が旺盛になる

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	<p>II 人と関わる力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者との信頼関係を深め、思いや気持ちを受け止めてもらい、安心して過ごす。</li> <li>・保育者と一緒に自分のしたい遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者との関わりの中で、生活や遊びにきまりがあることを知る。</li> <li>・友達と関わっていることに興味をもち、同じ場で遊んだり、真似たりすることを楽しむ。①</li> <li>・保育者や友達と一緒に見立て遊びやつもり遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との関わりの中で、保育者を仲立ちとして、相手の思いを知ろうとする。①</li> <li>・保育者との生活や遊びの中で、経験したことをごっこ遊びに再現して楽しむ。</li> </ul>	
身近な人	<p>○周りに友達がいる嬉しさや、友達と一緒に遊ぶ楽しさが感じられるように…。①</p> <p>【動】 友達に関心もてるような環境をつくる。</p> <p>【続】 保育者も一緒に遊び、思いに共感したり、友達の気持ちを言葉で丁寧に伝えたりする。</p>			

・子ども一人一人、人に対する関心には違いがあります。  
・一人一人の気持ちを探ることが大切です。  
・友達に関心もてるようになるには、みんなで一緒に何かをすることよりも、保育者との信頼関係を基盤に、気持ちが十分に満たされていることが欠かせません。

・子どもの姿をどう捉える？ 子どもの思いをどう読み取る？  
➢ ときには、子どもの思いを言葉にしてみよう

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	<p>III 思いを伝える力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いを身振りや簡単な言葉で伝えようとする。</li> <li>・生活の中で保育者や友達と一緒に簡単な挨拶や返事をする。</li> <li>・絵本などを見ることを楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の仲立ちにより、友達と言葉のやり取りをしようとする。①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちや見たこと、聞いたこと、経験したことなどを言葉で伝えようとする。</li> <li>・保育者や友達の話に興味や関心をもって聞こうとする。</li> <li>・保育者や友達と見立て遊びやごっこ遊びを通して、言葉のやり取りを楽しむ。①</li> </ul>	
言葉	<p>○言葉で表現することが楽しいと感じられるように…。①</p> <p>【動】 子どもが話しやすい雰囲気づくりをする。</p> <p>【続】 子どもの伝えたいと思う気持ちを大切にしながら、温かく応答的なやり取りをしていく。</p>			

・保育者が子どもの気持ちを代弁しながら、やり取りを繰り返すうちに、言葉での表現が豊かになります。

・どうすれば応答的なやり取りが楽しめるかな？  
➢ 一緒に遊ぶ  
➢ 子どもの言いたいことを察する など

2歳児 「イヤイヤ」「なんで？」 自我が育つ 好奇心が旺盛になる

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	<p>IV 自然や身近な環境に関わる力</p> <p>・水、砂、土などの感触を楽しみながら伸び伸びと遊ぶ。①                      ・身近な生き物や草花を見たり、触れたりしながら興味をもつ。①                      ・身近な玩具や遊具に興味をもち、使って遊ぶ。②</p> <p>→</p> <p>・秋の自然物に触れて遊ぶことを楽しむ。①                      ・玩具、遊具、素材などを自分なりに取り入れて遊ぶ。②                      ・身近なものの形、色、大きさ、量などに興味をもつ。②</p> <p>→</p> <p>・冬の自然事象に興味をもち、見たり、触れたりして遊ぶ。①</p>			
身近な自然	<p>○身近な自然に興味や好奇心をもって関わるができるように…。①                      【動】身近な自然に触れる機会をもつ。                      【続】保育者と一緒に自然と関わりながら、様々な気づきや発見の喜びに共感する。</p> <p>・保育者は身近な自然を知って、感動することが大切です。                      ・子どもの発見や感動、思いを受け止めましょう。「大きいね」、「ほんと、きれいだね」など                      ・安全面や衛生面の配慮をしましょう。                      ・動植物の特性を知っておきましょう。                      ▶ マムシ、からげの木、カメ、蚊・ブト など</p> <p>・身近な自然にどんな魅力がある？                      ・(魅力ある) 身近な自然にはどんなものがある？                      ▶ 季節の生き物、草花、木の実、雪、氷 など</p>			
身近なもの	<p>○身近なものに触れて遊び、興味や好奇心がもてるように…。②                      【動】子どもが楽しんでいることを大切に、満足できるまで遊べるよう、環境を工夫する。                      【続】子どもが好奇心をもって遊ぶ姿を認め、共感的に関わる。</p> <p>・子どもの好奇心に寄り添いながら一緒に楽しみましょう。                      「面白い(そうだね)」、「先生もやってみようかな？」など</p> <p>・子どもが満足できるまで遊べる環境には何か必要？                      ▶ 保育者の気持ちのゆとり                      ▶ ゆったり遊べる時間 など</p>			

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	<p>V 感性豊かに表現する力</p> <p>・生活の中で様々な音、形、色、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり感じたりする。                      ・様々な素材や用具に触れ、イメージを広げながら、かいたり、つくったりして表現を楽しむ。①                      ・歌ったり、手遊びをしたり、音楽やリズムに合わせて体を動かしたりして楽しむ。①</p> <p>→</p> <p>・生活や遊びの中で、興味のあることや経験したことをイメージしながら自分なりに表現する。①</p>			
表現	<p>○子どもが自ら表現することを楽しめるように…。①                      【動】一人一人の興味や関心に合わせた遊びができるよう、環境を工夫する。                      【続】子どもの表現を受け止め、保育者と一緒に楽しみながら遊ぶ。</p> <p>・子ども達は今、何に興味をもっていますか？生活や遊びの中の(視線や表情などを含む)さりげない姿からヒントを見つけることが大切です。                      ・手先の発達は未熟です。発達に合ったものを使いましょう。                      ・保育者と一緒に楽しみましょう。</p> <p>・楽しく表現できる環境には何か必要？                      ▶ 保育者の笑顔                      ▶ 保育者の肯定的な言葉掛け                      ▶ なじみのある歌や音楽、手遊び など                      ・2歳児なりの、かいたり、つくったりする遊びには、どんな配慮が必要？                      ▶ 汚れてもいいように、シートなどを用意する                      ▶ 使っていないものだけを置いておく など</p>			

3歳児 「おもしろそう やってみたい」 興味関心がわく 経験をため込む

3歳児 「おもしろそう やってみたい」 興味関心がわく 経験をため込む

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
めざす子ども像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちが安定し、身の回りのことを進んでしようとする子</li> <li>・身近な人、物、事象に好奇心をもち、自ら関わろうとする子</li> <li>・友達に関心をもち、自己主張しながら遊ぶ子</li> </ul>			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境に慣れ、安心して行動する。</li> <li>・遊具や玩具、身近な自然に興味をもち、遊ぶ。</li> <li>・保育者や友達に関心をもち、親しみを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でできた喜びや気持ちよさを味わう。</li> <li>・様々な素材を使って、繰り返し遊んだり、不思議さや面白さを感じたりする。</li> <li>・興味のある遊びを通して、友達と関わったり、友達のしていることに興味をもったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でできることをしようとする。</li> <li>・思い切り体を動かして遊ぶ楽しさや心地よさを味わう。</li> <li>・自分の気持ちを出しながら友達と関わろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でできることを進んでする。</li> <li>・遊びを見つけて、自分の思いを出しながら十分に楽しむ。</li> <li>・いろいろな遊びを通して、イメージを共有しながら、一緒に活動することを楽しむ。</li> </ul>

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達と一緒に食べる中で、食べることの楽しさを味わう。①</li> <li>・園庭や固定遊具で体を動かして思い切り遊ぶ。②</li> <li>・遊具や玩具の安全な遊び方を知る。</li> <li>・基本的な生活の仕方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水の感触や心地よさを感じながら開放感が味わえる遊びを十分に楽しむ。</li> <li>・水遊びを楽しむためのきまりを知り、守ろうとする。</li> <li>・簡単な身の回りのことを自分でしようとする。③</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。②</li> <li>・遊具や用具を安全に使う。</li> <li>・生活や安全に必要な簡単なきまりが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことを自分からしようとし、できたことを喜び、自信をもつ。③</li> </ul>

食べる	<p>○食べるのが好きになるように…。①</p> <p>【動】空腹感を感じられるよう、存分に遊べる環境をつくる。</p> <p>【続】保育者や友達と一緒に安心して食事ができる雰囲気づくりをする。</p>	<p>・安心して食事ができるには、保育者の笑顔が欠かせません。</p> <p>・「ああ、おなかすいたあ！」と思えるくらい、元気に遊びましょう！</p> <p>・一人一人の様子をよく見て、安心して食べられるように、丁寧に対応しましょう。</p> <p>・過度な無理強いを避けましょう。</p>	<p>・安心して食事ができる雰囲気をつくるには何か必要？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ゆったり食べることができる時間設定</li> <li>➢ 「おいしいね」などの優しい言葉掛け</li> <li>➢ 個に応じた量</li> <li>➢ 場の変化（室内・室外） など</li> </ul>
体を動かす	<p>○体を動かすことを好きになるように…。②</p> <p>【動】体を動かす経験がたくさんできるよう、生活や遊びを工夫する。</p> <p>【続】安心して体を動かせるよう、保育者も一緒に遊ぶ。</p>	<p>・難しいルールがある（集団）遊びや動きより、子どもの興味や関心に合った、分かりやすい遊びでたくさん動きましょう。</p> <p>・子どもの動きを予測して、安心・安全な環境をつくりましょう。</p>	<p>・身近に、楽しく体を動かして遊べる環境はある？ また、どうすればそんな環境になる？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 固定遊具</li> <li>➢ 散歩</li> <li>➢ 保育者の遊び心 など</li> </ul>
生活	<p>○「自分でしたい」「自分でできる」という気持ちをもてるように…。③</p> <p>【動】子どものしようとする姿を受け止め、必要に応じて援助する。</p> <p>【続】安心して身の回りのことができるよう、側で見守る。</p>	<p>・子どもの「自分でしたい」気持ちや自分でしようとする姿を受け止め、「できる」を急がず、ゆったりと見守りましょう。そして、子ども自身が「自分でできた」と実感できるよう、必要に応じて援助し、自信につなげましょう。</p> <p>・保護者の気持ちを踏まえて一緒に考えたり、協力をお願いしたりして、ゆっくり丁寧に進めていきましょう。</p>	<p>・一人一人のペースに寄り添うために、どんなことに配慮する？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 家庭での過ごし方や発達段階を知る</li> <li>➢ 子どもが自分でしやすいように環境を工夫する など</li> </ul>

3歳児 「おもしろそう やってみたい」 興味関心がわく 経験をため込む

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	<p>II 人と関わる力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活の流れを知り、安心して過ごす。</li> <li>自分のしたい遊びを見つける。</li> <li>保育者や友達と一緒に過ごすことを楽しむ。①</li> <li>自分のしたい遊びをする中で、友達のしていることに興味をもったり、まねをしたりする。②</li> <li>自分の思いを伝えたり、表現したりしながら、友達と遊ぶ楽しさを味わう。②</li> <li>簡単なルールのある遊びを保育者や友達と一緒に楽しむ。</li> <li>共同の遊具や用具を大切にしようとする。③</li> <li>みんなで過ごすために必要なきまりがあることを知る。③</li> <li>遊びの準備や片付けなどを保育者や友達と一緒にしようとする。③</li> <li>一緒に遊びたい友達と同じ場で遊ぶ中で、相手のことを気にかける。</li> <li>日常の挨拶をしようとし、名前を呼ばれたら返事をする。</li> <li>身近な人に日常の挨拶をしようとする。</li> <li>行事を通して地域の人々と触れ合う。</li> </ul>			
友達や先生と	<p>○保育者や友達と一緒に安心して過ごせるように…。① 【動】一人一人の思いが満たされるよう、丁寧に受け止める。 【続】友達とつながりがもてるよう、さりげなくきっかけづくりをする。</p> <p>○友達に興味をもてるように…。② 【動】友達のしている様子に気付くことができるような言葉掛けをする。 【続】自分を出しながら、友達と関わりをもとうとする姿を認める。</p> <p>○友達と気持ちよく過ごせるように…。③ 【動】園で楽しく過ごすためのきまりがあることを知らせる。 【続】きまりを守ると気持ちが良いと実感できるよう、言葉掛けをする。</p> <p>3歳児はまだまだ甘えたい時期です。まずは、スキンシップをたっぷりとり、保育者との信頼関係を築くことが最も大切です。子ども同士を無理につなげる必要はありません。 特に不安を抱えている子には、安心できるよう、心に寄り添い、ゆっくり丁寧に関わりましょう。 その子のいいところを見つけて、たくさんほめましょう。</p> <p>クラス全員が楽しく遊んでいるか、一人一人の子どもの姿をしっかりと観察することが大切です。 ➤好きな遊びを夢中で楽しんでいるかな？ 遊べていない子がいないかな？ など</p> <p>3歳児なりの、関わりをもって過ごしている場面って、どんなのがある？ ➤にやにや見つめ合っている、笑い合っている ➤友達と手伝いをしている、同じ場所で遊んでいる など</p> <p>関わりをもとうとする姿は子どものどんな様子から分かる？ 表情、視線、言葉などを観察しよう。 どんな声を掛けたら友達の存在が感じられる？ 例えば「OOちゃんと一緒に遊んで、楽しかったねえ」など、友達との関わりを意識した声掛けをしよう。</p> <p>子どもが気付いていない『気持ちのよい行動や経験』を言葉にして実感できるようにしましょう。 ➤「順番を守ったから、たくさん遊べたね」、「きれいになって気持ちいいね」、「ありがとう」って言ってもらって嬉しかったね など 挨拶や返事など、続けることで気持ちのよい習慣になっていくことも大切です。</p> <p>3歳児でも大切にしたい集団生活のきまりにどんなものがあるか、発達段階を踏まえて、職員間で考えてみよう。</p>			
集団生活	<p>○友達と気持ちよく過ごせるように…。③ 【動】園で楽しく過ごすためのきまりがあることを知らせる。 【続】きまりを守ると気持ちが良いと実感できるよう、言葉掛けをする。</p> <p>3歳児でも大切にしたい集団生活のきまりにどんなものがあるか、発達段階を踏まえて、職員間で考えてみよう。</p>			

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	<p>III 思いを伝える力</p> <p>・自分のしたいことやしてほしいことを保育者に言葉で伝えようとする。①</p> <p>・経験したことや自分の気持ちを保育者や友達に自分なりの言葉で話す。①</p> <p>・生活を進めていく上で必要な言葉が分かる。</p> <p>・生活や遊びに必要な言葉を知り、使おうとする。</p> <p>・友達や保育者に自分の思いを伝えようとしたり、友達の話聞くことしたりする。</p> <p>・絵本や紙芝居の言葉や話に興味をもって、見たり、聞いたりする。②</p>			
言葉・伝える	<p>○自分の言いたいことを自分なりの言葉で伝えたいと思えるように…。①</p> <p>【動】子どもが言いたいと思える雰囲気をつくる。</p> <p>【続】伝わる嬉しさを感じられるよう、言葉で伝えようとする姿を受け止めたり、言葉を添えたり、代弁したりする。</p> <p>○絵本や紙芝居を通していろいろな言葉に触れられるように…。②</p> <p>【動】繰り返し読んだり、言葉で遊ぶ機会をもったりする。</p> <p>【続】いろいろな言葉に関心をもったり、面白さに気付いたりできるよう、保育者も一緒に共感したり、遊んだりする。</p>			

・保育者との信頼関係が最も大切です。子どもが、自分のしたいことやしてほしいこと、いやなことを保育者に伝えようとしてくれることは、保育者にとって、嬉しいことですね。

・言葉を増やしてほしいと願い、言葉を添えるけど、言い過ぎや先回りのしすぎには注意しましょう。

・子どもが言いたいと思える雰囲気をつくるのにどんなことを心掛ける？

- 先生の表情やゆとり
- 子どもがしゃべることができる間をつくる など

・子どもの言いたいことは何かな？ 子どもの表情や仕草をよく見て、言いたいことを読み取ろう。

・たくさんの絵本を読み聞かせしましょう！

・たくさんの言葉に触れられるようにしましょう。

・勉強と間違えないようにしましょう。「面白い！」が大切です。

・絵本を選ぶポイントを考えてみよう。

- 3歳月の発達に合っているかな？
- 子どもの興味や関心に合っているかな？ など

・遊びや生活の中にいろいろな言葉を取り入れてみよう。

3歳児 「おもしろそう やってみたい」 興味関心がわく 経験をため込む

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期		1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内 容	IV 自然や身近な 環境に関わる力	<ul style="list-style-type: none"> <li>砂の感触を楽しみながら遊ぶ。</li> <li>草花や虫を見たり、触れたりする。①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>砂、土、水などに触れながら、作ったり、見立てたりして遊ぶ。</li> <li>生き物や草花に興味をもち、発見を喜んだり、楽しんだりする。①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>虫や木の葉、木の実に興味をもち、喜んで探す。①</li> <li>自然物を集めたり、使って遊んだりすることを楽しむ。②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬の自然事象に触れたり、体で感じたりする中で、驚いたり、面白さを味わったりする。①</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な物の形、色、大きさ、数、量などに関心をもつ。②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な物の形、色、大きさ、数、量などの様々な違いに気付く。②</li> </ul>		
自然・動植物		<p>○自然に触れながら存分に遊べるように…。①</p> <p>【動】身近な自然に触れる機会を積極的にもつ。</p> <p>【続】子どもがしたいことや感じたことに共感したり、満足いくまで関わることができるよう、環境を工夫したりする。</p>			
		<p>・子どもと同じ目線で、不思議さや面白さに共感しましょう。</p> <p>➢ 子どもの興味をキャッチしましょう！ 子どもと大人の興味のポイントには違いがあることもあります。</p> <p>・子どもが存分に遊べるには、時間や場所を保障することが大切です。</p>			
		<p>・今（この時・時期）しかできない自然を通しての体験や遊びをするにはどんなことを知っておいたり、活用したりするといいい？</p> <p>➢ 四季折々の自然現象・生き物・植物を知る</p> <p>➢ 園庭、地域の自然環境を活用する など</p> <p>・（安心して）安全に遊べるよう、事前に準備することを考えよう。</p>			
身近な環境		<p>○身近なものを使って遊ぶことを楽しめるように…。②</p> <p>【動】様々な遊具、道具、素材などに触れられるよう、環境を整える。</p> <p>【続】形、色、大きさ、数、量等への気付きを受け止めたり、関心を向けられるような言葉掛けをしたりする。</p>			
		<p>・体験の中で子どもが形、色、大きさ、数、量等に関心をもったことに保育者が気付くことが大切です。</p>			
		<p>・気付いたり、関心を向けたりできるような言葉掛けを考えよう。</p> <p>➢ 「大きいね」、「何個あるかな?」、「オレンジ色だね」 など</p> <p>・子どもが体験の中から気付くことができるといいいね。</p>			

3歳児 「おもしろそう やってみたい」 興味関心がわく 経験をため込む

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	<p>V 感性豊かに表現する力</p> <p>・身近な素材に興味や関心をもつ。 ・気に入った素材を使って、伸び伸びとかいたり、つくったりする。① ・自分なりのイメージをもって、かいたり、つくったりする。② ・絵本や紙芝居などに親しみ、想像する楽しさを味わう。③ ・感じたことや思ったことを動きや言葉で表現していくことを楽しむ。③ ・保育者と一緒に歌を歌ったり、手遊びをしたりして楽しむ。 ・みんなで歌うことやリズムに合わせた表現遊びを楽しむ。 ・リズムによって、ダンスや体操などをして体を動かすこと ・友達と一緒に歌を歌ったり、楽器を使って音楽に合わせて鳴らしたりして楽しむ。③</p>			
かく・つくる	<p>○かいたり、つくったりすることを楽しめるように…。① 【動】子どもが自由にかいたり、つくったりして遊べるよう、環境を工夫する。 【続】子どもの思いや意欲を受け止め、共感する。</p> <p>○かきたいものやつくりたいものを自分なりに表現することを楽しめるように…。② 【動】自分の思いを形にできるように、かいたり、つくったりできる環境を構成する。 【続】必要に応じて、一緒につくったり、援助したり、共感したりする。</p>			
絵本・音楽	<p>○いろいろな絵本や音楽に触れて、見たり、聞いたり、歌ったりすることを楽しめるように…。③ 【動】子どもの興味や関心に合った絵本や音楽に触れられる機会をもつ。 【続】友達と楽しんで表現する（しようとしている）ことを受け止めたり、共感したりする。</p>			

・保育者が素材や用具の性質を知っておきましょう。  
・子どもなりの(素朴な)表現を大切に受け止めましょう。

○かいたり、つくったりすることを楽しめるように…。①  
【動】子どもが自由にかいたり、つくったりして遊べるよう、環境を工夫する。  
【続】子どもの思いや意欲を受け止め、共感する。

・使ってみたくなる、したくなる環境を考えよう。  
➢ 年齢に合った素材(廃材も含む)や用具を選べる  
➢ 使いやすい など

・心が動くような実体験が「かきたい」、「つくりたい」という気持ちにつながります。また、一人一人かきたいものやつくりたいものは違います。そんな気持ちを大切に受け止めましょう。

○かきたいものやつくりたいものを自分なりに表現することを楽しめるように…。②  
【動】自分の思いを形にできるように、かいたり、つくったりできる環境を構成する。  
【続】必要に応じて、一緒につくったり、援助したり、共感したりする。

・子どもの、かいたり、つくったりしたい気持ちに応じるには、どんな環境を準備する？  
➢ 年齢に合った素材や用具(目新しい素材含む)を選べる  
➢ ゆとりある時間や安心してかいたり、つくったりできる場所がある など

・1年を通して、子どもの好きな絵本、子どもに読み聞かせたい絵本など、様々な絵本に触れさせましょう。  
・様々な音や(リズムも含めた)音楽を保育者も一緒に面白がったり、解放感を味わったりして楽しみましょう。

○いろいろな絵本や音楽に触れて、見たり、聞いたり、歌ったりすることを楽しめるように…。③  
【動】子どもの興味や関心に合った絵本や音楽に触れられる機会をもつ。  
【続】友達と楽しんで表現する(しようとしている)ことを受け止めたり、共感したりする。

・子どものどんな姿を受け止めたり、どんな気持ちに共感したりする？  
➢ 自然に体が動く姿、楽しそうに聞き入っている姿 など  
・家庭環境に違いがあることを踏まえて、家庭への読み聞かせの啓発はどのようにする？  
・見たり、聞いたりしてみたい気持ちももてるよう、どんな環境をつくる？  
➢ 手に取りやすい場所に絵本を置くようにする  
➢ いろいろな音楽を流す など

4歳児 「もっとやりたい これやりたい」 遊び込む 夢中になる

4歳児 「もっとやりたい これやりたい」 遊び込む 夢中になる

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
めざす子ども像	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分でできる喜びを味わい、自信をもって自己発揮する子</li> <li>いろいろな遊びを楽しんだり、新しい方法を試したりしながら遊び込む子</li> <li>自己主張しながら、互いに分かり合おうとする子</li> </ul>			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい生活の仕方が分かり、できることは自分ですとす</li> <li>自分で好きな場や遊具、遊びを見つけて遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>保育者や友達に親しみをもち、一緒に遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>			

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べ物と体の関係を知り、食べようとする。①</li> <li>保育者や友達と体を動かすことを楽しむ。②</li> <li>遊具や用具の安全な使い方を知り、安全に遊ぶ。③</li> <li>生活に必要な習慣や態度を身に付ける。④</li> </ul>			

**食べる**

○友達や保育者と食べることを楽しめるように…。①

【動】空腹感を感じ、食べることが楽しみになるよう、存分に遊べる環境をつくる。

【続】友達や保育者と一緒に楽しく食べられるような和やかな雰囲気をつくる。

- 空腹感を感じるには、適度な活動量や遊びの満足感などが欠かせません。
- 楽しく食べるには、保育者の笑顔が大切です。
- 一人一人の様子をよく見て、食べる時間が楽しみになるように、丁寧に対応しましょう。

・和やかな雰囲気をつくるには、どんなことに配慮すればいい？

- 「一緒に食べるとおいしいね」などの優しい言葉掛け
- 個に応じた量
- 人の変化（一人、グループ、異年齢で食べるなど）
- 場の変化（室内・室外）など
- クッキング活動もいっきかけになるね。

・どうすれば体を動かしたくなる環境をつくることができる？ 子どもの興味や関心、普段の遊びの内容をよく見よう。戸外にも魅力的な場所がたくさんあるね。

・どうすれば「もっとやりたい」、「やってみたい」という気持ちを育むことができる？

- 友達のしていることが見える
- 自分なりに「できた」という達成感や満足感をもてる言葉掛けをする  
例えば、「勇気を出して頑張ったね」、「昨日より1回多く跳べたね」など
- 子どもがチャレンジしやすい道具や遊びを準備する など

**体を動かす**

○保育者や友達と体を動かす楽しさを感じられるように…。②

【動】保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶ機会をもつ。

【続】保育者も一緒に遊び、心地よさや楽しさを共有する。

- 心地よさや楽しさを感じられる遊びには何か必要？
- 運動量
- 笑顔
- 気の合う友達と一緒に遊んでくれる保育者 など

・とにかく「楽しい！」が大切です。

- 保育者も一緒に入り込んで楽しみましょう。
- やろうとしている姿や過程を認め、たくさんほめましょう。

○進んで体を動かそうとする気持ちが育つように…。⑤

【動】体を動かしたくなるような環境をつくる。

【続】「もっとやりたい」、「やってみたい」という気持ちを育むよう、自分なりに取り組んでいる（取り組もうとしている）姿を認めたり、励ましたりする。

- 保育者の、認めたり、励ましたりする声掛けは自信につながります。
- 安全面に配慮しましょう。
- 自分なりに「できた」という達成感や満足感をもてること（≠ちょっとだけ難しいこと）は一人一人異なります。

**生活**

○安全な過ごし方、遊び方に気付くことができるように…。③

【動】いろいろな遊びや生活経験を通して、安全について繰り返し知らせる。

【続】安全に過ごせるように気を付けて行動（しよう）した姿を見守ったり、認めたりする。

- A先生とB先生の言っていることが違くと、子どもが困ります。安全な過ごし方や遊び方について、職員が共通理解しておきましょう。子どもの行動を予測し、危険がありそうな箇所や場面を予め把握しておくことが大切です。
- 子ども自身が気付くことができるような言葉掛けや視覚的に分かりやすい掲示を考えよう。

○園生活や健康のために繰り返し行った方がよい行動があることに気付き、行動しようとするように…。④

【動】いろいろな生活経験をすることで、生活しやすい環境を整えたり、工夫したりする。

【続】園生活や健康のために自分ですとす気持ちや行動を認め、意味付けたり、大切さを知らせたりする。

- 規則正しい生活習慣を身に付けることは大切です。
- 家庭環境に違いがあることを踏まえて関わりましょう。
- 家庭との連携も丁寧に進めていきましょう。

・園生活の中で、健康や衛生のために、毎日繰り返し行った方がよい行動には何かある？

- 手洗い、歯磨き、うがい
- 掃除 など
- 毎日続けるためには、どんな環境を構成する？
- 子どもが動きやすい動線
- 分かりやすい掲示 など

4歳児 「もっとやりたい これやりたい」 遊び込む 夢中になる

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	<p>II 人と関わる力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達と触れ合って遊ぶことを楽しむ。②</li> <li>・園生活を楽しく過ごすために、きまりやルールの大切さに気付く、守ろうとする。④</li> <li>・親しみをもって日常の挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒にやりたい遊びをする中で、友達の思いや気持ちに気付く。</li> <li>・共同の遊具や用具を大切にし、譲り合う気持ちをもつ。</li> <li>・異年齢児に関心をもち、関わって遊ぼうとする。⑤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの思いを主張し、ぶつかり合ったり、思い通りにならない経験をしたりする。①</li> <li>・気の合う友達とイメージを共有し、見立てたりやり取りしたりする。</li> <li>・ルールのある遊びに興味をもち、友達と一緒に楽しむ。</li> <li>・行事を通して地域の人々と触れ合い、親しみをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの思いや考えを出し合いながら、遊びを進めることを楽しむ。③</li> <li>・友達と遊びながらルールの大切さを知り、守ろうとする。④</li> </ul>
友達と	<p>○友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるように…。②</p> <p>【動】 友達と関わって遊べるように環境を工夫する。</p> <p>【続】 保育者も遊びの中に入り、橋渡しをしたり、楽しさに共感したりする。</p>	<p>○友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思いを出すことができるように…。①</p> <p>【動】 思いを出すことができるよう、安心できる雰囲気をつくる。</p> <p>【続】 一人一人の気持ちを丁寧に汲み取り、見守ったり、支えたりする。</p>	<p>○思いを出し合いながら遊ぶ楽しさを感じられるように…。③</p> <p>【動】 友達の思いに気付くことができるよう、それぞれの気持ちを十分に受け止めながら、必要に応じて言葉を添えたり、助言したりする。</p> <p>【続】 遊びを進め(ようとし)ている姿を認めたり、友達と遊ぶ楽しさに共感したりする。</p>	
社会生活	<p>○きまりやルールの大切さを知り、気持ちよく過ごせるように…。④</p> <p>【動】 友達と楽しく、気持ちよく過ごせるような関わり方に気付くことができるよう、必要に応じて援助したり、声を掛けたりする。</p> <p>【続】 きまりやルールを守ることを子どもと一緒に考える機会をつくる。</p>			
異年齢児と	<p>○様々な人がいることに気付き、関わろうとする気持ちがもてるように…。⑤</p> <p>【動】 異年齢児と遊べるよう、環境を工夫したり、機会をつくったりする。</p> <p>【続】 異年齢児とまた関わって遊びたいと思えるよう、親しみをもって遊ぶ(ぼうとする)姿を認めたり、気持ちに共感したりする。</p>			

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	<p>III 思いを伝える力</p> <p>・見たことや感じたことなどを保育者や友達に伝えようとする。      ・自分の思いや感じたことを相手に分かるように伝えようとする。①</p> <p>・保育者や友達の話に興味や関心をもって聞いたり話したりする。      ・気の合う友達とやったことやしたいことを言い合いながら遊ぶ。②</p>			
聞く 伝える	<div data-bbox="964 409 1573 619" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○自分の思いを相手に伝えたいという気持ちが育つように…。①</p> <p>【動】伝わった嬉しさが感じられるよう、気持ちに共感したり、必要に応じて言葉を添えたりする。</p> <p>【続】自分の思いを伝えようとする姿を認める。</p> </div> <div data-bbox="474 640 1231 871" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・保育者は、まずは子どもの思いを聞くことが大切です。安心して聞いてもらうことで、子どもは自分の思いを保育者や友達に「伝えたい」から「伝えよう」とする気持ちになります。</p> <p>・何か自信をもっていることや興味をもっていることがあると、自ら「伝えたい」と思う気持ちが育つことにつながります。このことを踏まえて、保育者は子ども一人一人をよく見て、その子が何に自信をもっていたり、興味をもっていたりするか知っておきましょう。</p> </div> <div data-bbox="1291 640 2107 840" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・自分の思いを伝えにくそうにしている子はいない？ もし、いるのなら、なぜ伝えにくそうなのか、一人一人の育ちの過程を踏まえて考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 話す（使う）言葉が分からない？</li> <li>➢ 緊張しやすい？ 恥ずかしい？</li> <li>➢ そもそも話したくない？</li> <li>➢ 聞かれていることが分からない？（分かりやすい聞き方だったかな？） など</li> </ul> </div> <div data-bbox="1855 934 2671 1071" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・気の合う友達と存分に遊べる時間を保障しましょう。気の合う友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思いを言おうとする機会が増えます。</p> <p>・1対1でも、少人数でも、伝えようとする姿を大切にしましょう。みんなの前で言わせようとする必要はありません。</p> </div> <div data-bbox="1602 1081 2760 1249" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○自分の思いを言葉にして伝えられるように…。②</p> <p>【動】気の合う友達と存分に遊べる環境をつくる。</p> <p>【続】自分の言いたいことを伝えられるよう、言葉を添えたり、友達の話に耳を傾けられるよう、声掛けしたりする。</p> </div> <div data-bbox="1884 1260 2597 1428" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・子ども同士の関係をよく見て、どう寄り添うかを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ やりとりがいつも一方通行になっていないかな？ など</li> <li>・「友達の話に耳を傾けてほしいなあ」って、思うのはどんなとき？</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 友達の思いやアイデアに気付いてほしいとき</li> <li>➢ 友達が、その子なりに一生懸命話そうとしているとき など</li> </ul> </ul> </div>			

4歳児 「もっとやりたい これやりたい」 遊び込む 夢中になる

外P  
保育する際、外したくないポイント

考P  
保育する際、考えたいポイント

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容 IV 自然や身近な環境に関わる力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のしていることに興味をもち、やってみようとする。①</li> <li>・飼育物や虫などを見たり触れたり、簡単な世話をしたりする。③</li> <li>・植物や野菜に親しみ、世話をしたり収穫したりすることを楽しみにする。③</li> <li>・遊びや生活の中で、いろいろな形に興味をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂、土、水などを使って感触を楽しみながら、面白さや不思議さを感じたり、試したりする。②</li> <li>・自然物を集めたり、収穫したり、遊びに取り入れたいことを楽しむ。</li> <li>・身近な素材・用具の扱い方を知り、選んで使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し試したり、自分なりに工夫したりして遊ぶ。①</li> <li>・季節の変化や身近な自然の美しさや不思議さを感じる。②</li> <li>・集めた自然物を比べたり、分類したり、大きさや形、色の違いに気付いたりする。④</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな伝承遊びに興味や関心をもち、友達と一緒に楽しむ。</li> <li>・身の回りの絵や文字、数字に興味や関心をもち。④</li> </ul>

**身近な環境**

○自分のやりたい遊びを存分に楽しめるように…。①  
**【動】** 試したり、工夫したりしながら存分に遊べるよう、環境を整える。  
**【続】** 子どものしたいことに寄り添い、満足感や充実感を味わえるよう、さりげなく援助する。

・子どもの発想や工夫していることを見つけ、認めましょう。  
 ・「明日もしたい」「明日はこうしたい」という子どもの気持ちに寄り添ったり、実現できるよう、さりげなく援助したりすることで、より遊び込むことができます。

・明日も遊びの続きがしたいと思えるよう、どんな配慮をする？  
 > 準備の仕方や片付け方を工夫する  
 > 「明日どうする？」と聞いてみるなど、子どもの気持ちを引き出す  
 > とことん遊んだ満足感を味わう など

・一方的に教えるのではなく、生活や遊びの中で見つけることが大切です。

・様々なものって、どんなものがある？  
 > 絵本、自然物（の形・数）、シール、ポスター、積み木、ボール、名前  
 > 正月遊び、運動会 など

○生活の中で様々なものを取り入れて遊べるように…。④  
**【動】** 生活や遊びの中で、様々な形、数や大きさ、文字に触れる環境や機会をつくる。  
**【続】** 保育者や友達と一緒に遊ぶ中で興味や関心がもてるよう、様々なものを一緒に使ったり、楽しさや便利さに共感したりする。

**自然・動植物**

○身近な自然に興味をもてるように…。②  
**【動】** 心が動きそうな直接体験の機会をもつ。  
**【続】** 子どもの気付きを認めたり、感性に共感したりする。

・子どもや保育者が楽しみながら、飼育や栽培をすることが大切です。  
 > 子どもや保育者が、一緒に楽しく経験できる、適度な規模にしましょう。  
 ・身近な動植物に愛着をもって関わる中で、生命の誕生だけでなく、ときには「死」にも接することで、命の大切さに気付きます。  
 ・みんなが「同じ」ことをするのではなく、子ども一人一人の興味や関心に合わせて活動しましょう。

○生き物や植物、野菜に興味や関心がもてるように…。③  
**【動】** 動植物に触れる機会をもったり、環境をつくったりする。  
**【続】** 子どもの興味や関心に共感し、関わろうとする姿を認める。

・子どもの思いや気付きに共感しよう。  
 例えば、子どもが「〇〇を飼いたい!」と言ったとき、「どうやって（どこで）飼う?」、「何を食べるんだろうね?」と一緒に考えたり、調べたりするなど、興味がさらに湧くように関わろう。中には話し合った結果「逃がした方がよさそうだね」ということもあるね。  
 ・生き物や植物、野菜などが育つ時期や季節を把握しておこう。  
 ・飼育や栽培をするねらいや目的は何か? 園全体で考えてみよう。

・保育者が身近な自然や自然現象に関心をもち、感性を豊かにすることが大切です。

・今（この時・時期）しかできない自然を通しての体験や遊びをするにはどんなことを知っておいたり、活用したりするといい?  
 > 四季折々の自然現象・生き物・植物を知る  
 > 園庭、地域の自然環境を活用する  
 ・(安心して) 安全に遊べるよう、事前に準備することを考えよう。

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	<p>V 感性豊かに表現する力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな素材を使って、かいたり、つくったりする。①</li> <li>音楽に合わせて体を動かしたり、感じたままを自由に表現したりする。</li> <li>みんなで歌うことを楽しむ。④</li> </ul>			
かく・つくる	<p>○自分なりのイメージを形にしていくことの楽しさを味わえるように…。①</p> <p>【動】 いろいろな素材や用具を使える環境を整える。</p> <p>【続】 充実感や満足感が感じられるよう、自己表現（しようと）したことを認めたり、さりげなく援助したりする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>・完成したものだけではなく、表現活動の過程の中で考えたり、試行錯誤したりしたことを認めましょう。また、「すごいね」だけではなく、どこが、どうよかったのか、できるだけポイントを明確にして認める声掛けをしましょう。</p> <p>・できた子だけではなく、一人一人その子なりの頑張りと工夫を見つけましょう。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>・いろいろな素材や用具にふれて遊びたいにはどんな環境を準備する？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 年齢や時期に合った素材（廃材も含む）や用具を選べる</li> <li>➢ ゆとりある時間や遊びが継続できる場所がある</li> <li>➢ かいたり、つくったりしたものを使って遊ぶ時間や場所が保障されている など</li> </ul> <p>子どもが「まだ作りたい」、「もっとしたい」と言ってくれたら嬉しいね。</p> </div> </div>			
絵本	<p>○いろいろな絵本に触れながら、絵本の楽しさが感じられるように…。②</p> <p>【動】 好きな絵本に出会えるよう、いろいろな絵本を手に取りやすい環境を整えたり、読み聞かせる機会をもったりする。</p> <p>【続】 読み聞かせの時間が楽しいと思えるよう、雰囲気づくりや読み方、絵本の選び方などを工夫する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>・絵本を通して勉強するわけではありません。絵本を好きになることが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは、子ども達がいろいろな絵本に触られるようにしましょう。</li> <li>・保育者自身も多くの絵本に触れることが大切です。</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p>・絵本を選ぶポイントを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 子どもの関心、子どもの好きな遊び、季節、年齢に合った長さ、読むタイミング など</li> <li>・読み聞かせをする際、みんなが絵本を楽しめるために、何に配慮する？</li> <li>➢ 絵本が見えている？ 見えやすい角度になっている？ 絵の大きさはどう？</li> <li>➢ 毎回、感想を聞く必要がある？ など</li> <li>・家庭環境に違いがあることを踏まえながらも、家庭での読み聞かせのよさを啓発しよう。</li> </ul> </div> </div> <p>・一人一人の表現方法は違います。また、表現するのが苦手な子もいます。一人一人に寄り添いましょう。</p>			
音楽	<p>○友達と歌ったり、楽器を使って遊んだりすることが好きになるように…。④</p> <p>【動】 いろいろな歌や楽器に親しめるような環境をつくる。</p> <p>【続】 友達と歌ったり、楽器を使って遊んだりする楽しさを感じられるよう、保育者も楽しさを共有する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>・歌を歌ったり、楽器を鳴らしたりすることが楽しい！と感じることが大切です。</p> <p>・保育者が笑顔で音楽に親しんでいる姿が大切です。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>・受け止めたり、認めたりする声掛けて、どんなの？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (一人一人に)「今の、面白い!」、「(頑張っていた姿を)見てたよ」</li> <li>➢ (友達と一緒にしている姿に)「力を合わせていたね。すごいね」 など</li> </ul> </div> </div> <p>・音楽を楽しむ(める)ポイントって何？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ メロディ、リズム、(お気に入りの)歌詞、アイドルごっこ、聴く</li> <li>➢ 楽器に自由に触れられる など</li> </ul> <p>・ピアノが苦手なら、他の方法も考えよう。</p> <p>・歌う歌や楽器遊びの選曲のポイントを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 子どもの好きな曲、歌詞、音の高低、曲の速度・長さ など</li> </ul>			
	<p>○楽しい雰囲気の中で友達と一緒に表現しながら遊べるように…。③</p> <p>【動】 自分なりに表現しようとする姿を受け止めたり、認めたりする。</p> <p>【続】 友達と一緒に表現すると、より楽しいと感じられるよう、友達の表現に気付かせたり、表現し合う機会や環境をつくったりする。</p>			

5歳児 「それいいね 一緒にしたらもっとおもしろい」 創意工夫する 協同性を発揮する

5歳児 「それいいね 一緒にしたらもっとおもしろい」 創意工夫する 協同性を発揮する

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
めざす子ども像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考え行動し、自分の役割を果たそうとする子</li> <li>・自分なりの思いをもち、創意工夫して遊ぶ子</li> <li>・友達と共通の目的をもって遊び、関わりを深めていく子</li> </ul>			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長になった喜びや自覚をもち、いろいろなことに気付き、進んで行動する。</li> <li>・新しい環境に自分から関わって遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・互いの意見を主張し合いながら、遊びを進める楽しさを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりに試したり、工夫したり、考えたりして遊ぶ。</li> <li>・様々な素材を積極的に取り入れ、特徴を知ったり、遊びに生かしたりする。</li> <li>・友達といろいろな気持ちや考えを伝え合いながら一緒に遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなことに意欲的に取り組み、できた喜びや達成感を味わう。</li> <li>・自分の経験したことや考えたことを生かして、遊びを進める。</li> <li>・共通の目的を見だし、力を合わせて取り組む楽しさや充実感を味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長した喜びや自信をもち、入学への期待を膨らませる。</li> <li>・思いや考えを様々な方法で表現し、いろいろな活動に楽しんで取り組む。</li> <li>・友達と共通の目的をもって遊びをつくり上げ、やり遂げた喜びや達成感を味わう。</li> </ul>

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物と体の関係に関心をもち、進んで食べようとする。①</li> <li>・健康な生活に必要な活動の大切さが分かり、進んでしようとする。</li> <li>・安全に気を付けて、遊具や用具を使う。</li> <li>・思い切り体を動かす気持ちよさを味わい、繰り返し遊ぶ。③</li> <li>・年長になった喜びや自覚をもち、進んで行動する。</li> <li>・危険から身を守る方法を考えたり、安全に気を付けて行動したりする。⑥</li> </ul>			
I 健康な体をつくる力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体に関心をもち、健康で安全な生活をするための習慣や態度を身に付ける。②</li> <li>・やりたいことやできるようにになりたいことに向かって、挑戦しようとする。④</li> <li>・プール遊びをしながら水中感覚を味わったり、ダイナミックな動きに挑戦したりする。</li> <li>・やりたいことが自分の力でできる喜びや満足感を得る。</li> <li>・自分の目標に向かって、最後までやり遂げようとしたり、達成感を味わったりする。⑤</li> <li>・身を守るためにしなければならないことが分かり、どうしたらいいか考えて行動しようとする。⑥</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な体や安全な過ごし方に関心をもち、自ら行動する。②</li> <li>・健康な体や安全な過ごし方に関心をもち、状況に応じて行動する。②</li> <li>・やりたいことに思う存分取り組み、充実感を味わう。④</li> <li>・友達や周囲の状況に応じた体の動かし方や使い方を学ぶ。</li> <li>・自分の目標に向かって、最後までやり遂げようとしたり、達成感を味わったりする。⑤</li> <li>・身を守るためにしなければならないことが分かり、どうしたらいいか考えて行動しようとする。⑥</li> </ul>			

幼児期の  
終わりまでに  
育てほしい  
10の姿

食べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と一緒に食べることの楽しさが味わえるように…。①</li> <li>【動】空腹感を感じ、友達と一緒に食べることが楽しみになるよう、存分に遊べる環境をつくる。</li> <li>【続】友達と一緒に食べる楽しさに共感する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空腹感を感じるには、適度な活動量や遊びの満足感などが欠かせません。</li> <li>・楽しく食べるには、保育者の笑顔が大切です。</li> <li>・一人一人の様子を見ながらも、食べることの大切さを、折に触れて伝えましょう。</li> </ul>	健康な心と体
体を動かす	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と一緒に存分に体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるように…。③</li> <li>【動】存分に遊べるように時間や場などの環境を工夫する。</li> <li>【続】保育者も一緒に遊んだり、友達と遊ぶ姿を見守ったりして、楽しさや気持ちよさに共感する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和やかな雰囲気をつくるには、どんなことに配慮すればいい？</li> <li>➢ 「一緒に食べるとおいしいね」などの優しい言葉掛け</li> <li>➢ 個に応じた量</li> <li>➢ 人の変化（一人、グループ、異年齢で食べるなど）</li> <li>➢ 場の変化（室内・室外） など</li> <li>・クッキング活動もいっきかけになるね。</li> </ul>	
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体動かして遊んだ楽しさは子どものどんな姿から読み取ることができる？</li> <li>➢ 笑顔、仕草、表情、汗</li> <li>➢ 「楽しかった～」、「えらかった～」、「あつ～」など自然に出る言葉 など</li> <li>・家庭環境に違いがあることを踏まえながら、一人一人に応じて、認める声掛けをしましょう。</li> <li>・手洗い、うがいをするなど、「して当たり前」のように思っている行動でも、受け止められた経験を積み重ねることが大切です。</li> <li>・自ら進んでできるようにするために、どんな環境を構成する？</li> <li>➢ 分かりやすい掲示 など</li> <li>○園生活や遊びの中で、危険なことを知り、安全に気を付けて行動しようとするように…。⑥</li> <li>【動】安全に園生活を過ごすために、気を付けなければならないことを知らせる。</li> <li>【続】危険な事柄や遊び方について折に触れて考える機会をもち、気付きを促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活全般の中で、子ども自身が「見通し」をもって行動しようとしていたり、考えたりしていることを大切に受け止めましょう。自己選択や自己決定した経験を積み重ねることは、非認知能力（自己肯定感や自立心など）の育ちにつながります。</li> <li>・子どもの行動を先回りせず、子どもに任せて、見守りましょう。</li> <li>○健康に過ごすために行った方がよいことを知り、進んでできるように…。②</li> <li>【動】元気に過ごすための情報を提供したり、考える機会をもったりする。</li> <li>【続】やろうとする気持ちや行動を認める。</li> <li>○自分で決めて行動したり、あきらめずにしようとしていたりする中で、自分に自信がもてるように…。⑤</li> <li>【動】自己選択、自己決定ができる経験を積み重ねられるような環境をつくる。</li> <li>【続】思いや行動を受け止め、保育者や友達に認められる嬉しさを感じられるよう、関わりを工夫する。</li> <li>・自分一人で頑張るだけではなく、人の力や助けを借りて、最後まで頑張ることも必要な経験だね。</li> <li>➢ 「分からない」、「手伝って」、「教えて」、「これ、どうしたらいいの？」 など</li> <li>・生活全般の中で、子ども自身が気付いていない、気持ちのよい行動を見逃していない？</li> <li>➢ 役に立っていること、頑張っていること など</li> <li>➢ 場面に応じて、みんなの前で伝えたり、その子にだけ伝えたりして、その子の自信につなげよう。</li> <li>・A先生とB先生の言っていることが違うと、子どもが困ります。安全な過ごし方や遊び方について、職員が共通理解しておきましょう。子どもの行動を予測し、危険がありそうな箇所や場面を予め把握しておくことが大切です。</li> <li>・子ども自身が気付くことができるようにするには、どんな方法がある？</li> <li>➢ 話し合う、確認する</li> <li>➢ その都度、知らせる など</li> </ul>	自立心

5歳児 「それいいね 一緒にしたらもっとおもしろい」 創意工夫する 協同性を発揮する

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)	
内容	<p>II 人と関わる力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思いや考えを提案し、受け入れられる喜びを感じる。</li> <li>園生活の中で、きまりの大切さや必要性が分かり守ろうとする。④</li> <li>年長になった自覚をもち、年下の子に親しみをもって関わろうとする。⑦</li> <li>様々な人と関わり、親しみをもつ。⑦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達との関わりを通して様々な出来事を共有しながら、友達の異なる思いや考えに気付く。①</li> <li>一人一人がイメージや思いをもち、友達と関わって遊ぶ中で、共通の願いや目的を見いだす。②</li> <li>よいことや悪いことを自分なりに判断し、相手の気持ちを考え行動しようとする。</li> <li>異年齢児を誘ったり、一緒に遊んだりして、進んで関わる。⑦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どうすればできるようになったり、楽しくなったりするか、行動や気持ちをコントロールしようとする。</li> <li>気の合う友達だけでなく、いろいろな友達と関わって遊び、やり遂げようとしたり、充実感を味わったりする。</li> <li>共通の目的を見だし、実現に向け一緒に考えたり、協力したりする。③</li> <li>互いの力を発揮して遊ぶ中で、相手のよさに気付いたり、認め合ったりしながら、一緒に遊びを進める。</li> <li>生活や遊びに必要なきまりやルール、役割に気付き、つくったり、守ったりする。⑤</li> <li>相手の気持ちに気付き、自分の気持ちを調整したり、折り合いをつけたりして遊ぶ。⑥</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疑問に思ったことや興味をもったことの情報を集め、遊びに取り入れる。</li> <li>気付いたり、知ったりしたことを伝えたり、活用したり、再現したりして遊ぶ。</li> <li>場面や相手に応じた話し方をする。</li> </ul>	<p>幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿</p>
友達と	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者の姿勢や温かいまなざしが安心感や自己発揮につながります。</li> <li>自己発揮している姿は様々です。その子なりの自己発揮している姿を受け止めましょう。</li> <li>子どものやりたいことや好きなことを知っておきましょう。</li> </ul>	<p>○友達のいろいろな思いや考えに関心がもてるように…。①</p> <p>【動】 様々な出来事を共有できるよう、環境や場面を工夫する。</p> <p>【続】 一人一人の異なる思いや考えを肯定的に受け止め、友達に関心が向くように関わる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の思いや考えを理解し、尊重することが大切です。</li> <li>異なる思いや考えを必ずしもまとめる必要はありません。</li> </ul>	<p>○友達とやりたいことや実現したいことを共有し、試行錯誤しながら遊べるように…。③</p> <p>【動】 やりたいことや実現したいことを読み取り、試したり、工夫したりできる環境をつくる。</p> <p>【続】 友達と試したり、工夫したり、協力したりする姿を捉え、見守ったり、認めたりする。</p>	<p>自立心</p> <p>協同性</p>
社会生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの行動や内面をよく見て理解しながらも、折に触れて何のために必要なきまりか、一緒に考えましょう。</li> <li>必要なきまりをシンプルにして、ほめる機会を増やしましょう。</li> </ul>	<p>○やりたいことや実現したいことを主張し合いながら遊べるように…。②</p> <p>【動】 存分に自己発揮できるよう、一人一人の関心ややってみたい思いに丁寧に応じる。</p> <p>【続】 一人一人が自己発揮しながら友達と関わって遊べるよう、援助したり、認めたり、見守ったりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達に関心が向くように、どんな配慮をする？</li> <li>いろいろな遊びができる時間と場を確保する</li> <li>子ども同士が考えを出し合える遊びの場面を仕組む など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の過程の楽しさや面白さだけでなく、失敗も大切にしましょう。</li> <li>子どもは「やりたい」、「やってみたい」という遊びを通して、友達とのつながりを広げていきます。その遊びを子ども達に任せてみましょう。</li> <li>一人一人の経験の違いなども把握し、いろいろな子どもの姿を認めましょう。</li> </ul>	<p>道徳性・規範意識の芽生え</p>
異年齢児・身近な人と	<p>○きまりを守るとみんなが気持ちよく過ごせることに気付くことができるように…。④</p> <p>【動】 きまりを守ったり、守ろうとしたり、守れなかったりした姿や場面を捉え、丁寧に関わる。</p> <p>【続】 きまりを守ることが、気持ちよいと思えるよう、みんなでその気持ちよさを共有できる機会をもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもは様々な人との交流を通して多くのことを学びます。</li> <li>年長児としての「やる気」を生かして、自信につなげましょう。</li> <li>「恒例だから…」になっていませんか？ 関わる(交流する)ねらいを明確にしましょう。</li> <li>保育者も親しみをもって、一緒に楽しみましょう。</li> </ul>	<p>○生活や遊びの中で生まれたルールを守ったり、つくり替えたりして、より楽しさを感じられるように…。⑤</p> <p>【動】 ルールを守って遊ぼうとする行動や気持ちを認める。</p> <p>【続】 ルールをみんなで共有して遊ぶ姿を見守り、より楽しさを感じられるよう、言葉を掛けたり、楽しさに共感したりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の生活経験を活かし、子ども同士が主体的に遊ぶ中で、「こうしたい、こんなふうにしたい」など、ルールをつくったり、使ったり、つくり替えたりしようとする姿を認め、子どもに任せてみましょう。</li> <li>子ども達がルールをつくり上げていく中で、どんな配慮が必要？</li> <li>同じ子ばかりの思いが通ってない？</li> <li>困る子はいない？ など</li> <li>その他にも、子ども達が気付かない問題点などがあれば投げ掛けてみよう。</li> </ul>	<p>社会生活との関わり</p>

5歳児 「それいいね 一緒にしたらもっとおもしろい」 創意工夫する 協同性を発揮する

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)		
内容	III 思いを伝える力	・保育者や友達に自分の思いを主張したり、相手の話を聞こうとしたりする。	・相手の話を関心をもって聞こうとしたり、相手に分かるように話したりする。①	・地域の人、物、事象と関わる中で、感謝や憧れの気持ちをもち行動する。 ・話している人に気持ちを向けたり、情景を浮かべながら聞いたりする。 ・自分の考えたことを提案したり、相手の考えを受け入れたりする。②	幼児期の 終わりまでに 育てほしい 10の姿	
聞く・伝える	<div data-bbox="914 430 1561 667" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○相手に伝えたいという気持ちや相手の話を聞きたいという気持ちをもつことができるように…。①</p> <p>【動】相手の話を聞くことのよさを感じられるよう、一緒に耳を傾けたり、気持ちに共感したりする。</p> <p>【続】友達同士で聞いたり、話したりする姿を認めたり、機会を意図的につくったりする。</p> </div> <div data-bbox="1576 430 2686 510" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・「相手に伝えたい」と思うには、まずは「自分の思いを聞いてもらった」という経験を積み重ねることが大切です。</p> <p>・興味や関心をもって遊んでいる中で、聞きたい、話したい気持ちが生まれます。</p> </div> <div data-bbox="1576 531 2686 632" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・聞くことのよさには、どんなことがある？</p> <p>➢ 面白い、楽しい、知識が広がる など</p> <p>・気の合う友達やグループ、クラス全体など、友達同士で聞いたり、話したりする姿をいろいろな場面で見つけよう。</p> </div> <div data-bbox="1605 724 2686 825" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・子どもが考えを伝え合うには、安心して話せる友達との関係性が大切です。保育者の何気ない言動（言葉遣い、態度、行動など）が、その関係性にも影響することがあるので、日々、丁寧な保育を心掛けましょう。</p> <p>・伝える子だけでなく、聞こうとしている子も見逃さないようにしましょう。</p> </div> <div data-bbox="1576 846 2715 997" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○友達と考えを伝え合うことを楽しめるように…。②</p> <p>【動】自由に話せる雰囲気や関係性の中で、一人一人の考えを尊重できるよう、必要に応じて援助する。</p> <p>【続】子ども達の考えが伝わり合うように、自分の考えが伝わる嬉しさに共感したり、相手の考えを聞く（こうとしている）姿を認めたりする。</p> </div> <div data-bbox="1605 1018 2374 1207" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・子ども達の考えが伝わり合うように、どんな方法や配慮などがある？</p> <p>➢ 言葉を補う</p> <p>➢ ホワイトボードや紙面などを使い、絵や文字などで表す</p> <p>➢ 子ども達と話し合い、考えたやり方をする</p> <p>➢ 効果的なタイミングを考える（遊びの途中？ 後でゆっくり？） など</p> <p>人数や場所などによって違ってくるかもしれないね。</p> </div>				社会生活 との 関わり	言葉 による 伝え合い

5歳児 「それいいね 一緒にしたらもっとおもしろい」 創意工夫する 協同性を発揮する

外P

保育する際、外したくないポイント

考P

保育する際、考えたいポイント

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)	
内容	<p>IV 自然や身近な環境に関わる力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>砂や泥や水の感触を楽しんだり、特性に気付いて試したりする。</li> <li>身近な事象に自ら興味をもち、関わったり、遊びに取り入れたりする。</li> <li>栽培活動を通して、生長に興味や関心をもち、必要な世話をしたり、食べる喜びを味わったりする。②</li> <li>身近な生き物に触れたり、調べたりしながら、愛らしさを感じたり、生き物の気持ちを考え命の大切さに気付き世話をしたりする。</li> <li>身近な自然と触れながら、興味や関心をもったことを図鑑などで調べたり、確かめたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな素材を使って、試したり、考えたり、工夫したりする。</li> <li>思いを実現するために予想したり、試したりしながら、工夫する。</li> <li>数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、遊びや生活の中で生かしたりする。④</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>素材や用具の性質や仕組みなどを生かし、目的に応じて使う。</li> <li>遊びながらもっと楽しくなるためのアイデアを出し合ったり、考え直したりする。①</li> <li>問題を解決したり、解決に向けて発想豊かにしたり、自分なりに考えたりする。</li> <li>身近な自然に積極的に関わり、発見や感動する体験を通してその不思議さを知り、好奇心や探求心を高める。③</li> <li>遊びに応じて必要な表示を考えたり、文字や数字を積極的に取り入れたりする。④</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イメージを実現するために発想を豊かにしたり、試行錯誤したりする。</li> <li>文字や数字等を活用することで、便利になったり、相手に分かりやすくなったりすることを実感する。④</li> </ul>	<p>幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿</p>
身近な環境	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○友達と試したり、工夫したりしながら、より楽しく遊べるように…。①</p> <p>【動】子どもの発見を生かしたり、考えがより広がったりするよう、環境を工夫する。</p> <p>【続】友達と一緒に考えたり、試したりしている姿を認めたり、友達の発想や考えに触れる機会をもたせたりする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○数量や図形、標識や文字などへの興味や関心が広がるように…。④</p> <p>【動】生活や遊びの中で、数量や図形、標識や文字などが使われたり、表示されたりしていることが、生活をより便利で楽しくしていることに気付かせる。</p> <p>【続】自分の知っていることや経験したことを使って、遊びを工夫している姿を認めたり、楽しさに共感したりする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○身近な動植物に親しみをもてるように…。②</p> <p>【動】自ら関わりたいと思えるよう、きっかけをつくったり、環境を工夫したりする。</p> <p>【続】動植物と関わる中で、気付いたことを認めたり、感じたことに共感したりする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○身近な自然や自然現象に自ら関わろうとするように…。③</p> <p>【動】園内外の自然に直接触れる機会を繰り返しもつ。</p> <p>【続】子どもの気付きや発見、感動をその都度受け止めたり、気持ちに共感したりする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・いろいろな経験がないと、試したり、工夫したりすることはできません。日々の、小さな経験の積み重ねが大切です。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・子どもの遊びの様子をよく見ながら、展開に応じて環境を再構成しよう。 ➢ 場面、場所、時間、もの など</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・一人一人の経験、興味や関心には個人差があります。 ・子どもの文字には鏡文字や誤字などがありがちですが、子どもの書こうとする意欲や興味や関心をもつことを大切にしましょう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・数量や図形、標識や文字に関心がもてるように、どんな配慮をする？ ➢ 生活の中に取り入れる ➢ 気付くことができるような言葉掛けをする 「数えてみる?」、「比べてみる?」、「計ってみる?」、「これ、分かりやすいね」 ➢ 手に取りやすい場所に本などを置いておく ➢ 保育者が意識的に使おうとする など</p> </div>				<p>思考力の芽生え</p> <p>自然との関わり・生命尊重</p> <p>数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</p>
自然・動植物	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・みんなが「同じ」ことをするのではなく、子ども一人一人の興味や関心に合わせて活動しましょう。</p> <p>・身近な動植物に愛着をもって関わる中で、生命の誕生だけでなく、ときには「死」にも接することで、命の大切さに気付きます。</p> <p>・飼育や栽培をするねらいや目的などを園全体で考えてみましょう。</p> <p>・子どもや保育者が一緒に楽しく経験できる適度な規模にしましょう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・世話をしたり、見たり、触れたり、遊んだりしやすい環境を考えよう。</p> <p>・発見や感動したことを保育者や友達に関心をもって共感してもらえると、ますます関わりたくなるね。</p> <p>・園内外の自然環境を把握しておこう。 ➢ 生き物、植物などに触れることができる場所や時期 ➢ 野菜などが育ち、収穫できる時期 ➢ 地域の特色ある環境 など</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・保育者が身近な自然や自然現象に関心をもち、感性を豊かにすることが大切です。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・子どもはどんなことに感動する？ ・保育者も一緒に感動したり、不思議がったり、知りたがったりするのもいいね。</p> </div>				<p>数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</p>

5歳児 「それいいね 一緒にしたらもっとおもしろい」 創意工夫する 協同性を発揮する

**外P**  
保育する際、外したくないポイント

**考P**  
保育する際、考えたいポイント

期	1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)	
内容	<p>V 感性豊かに表現する力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な分野の絵本などに親しむ。</li> <li>・いろいろな素材を選んで、かいたり、つくったりする。</li> <li>・自分なりに表現することを楽しんだり、友達の表現に興味をもって見たりする。</li> <li>・みんなで歌を歌ったり、リズム遊びを楽しんだりする。</li> </ul> <p>① 絵本や物語などイメージを広げながら、見たり、聞いたりする。</p> <p>② イメージを共有しながら、友達と一緒に表現する充実感を味わう。</p> <p>③ 感じたこと、気づいたこと、感情を抱いたりしたことをいろいろな方法で表現する。</p> <p>④ 友達と一緒に歌を歌ったり、楽器を使ったりして、曲の雰囲気やリズムを楽しむ。</p>				幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿
かく・つくる	<p>・友達と一緒に考えたり、試行錯誤したりしていることを認めましょう。また、その子なりに頑張ったことや工夫したことをできるだけ具体的に見つけましょう。</p> <p>・友達と一緒に試行錯誤できるように、子どもの経験を踏まえて、素材や用具選びをらせてみましょう。</p> <p>➢ 絵の具、折り紙、廃材、マジック、画用紙、カラーポリ袋 など(量、種類など)</p> <p>・「やった!」、「楽しい!」、「できた!」を感じられるようにするには、どんな配慮をする?</p> <p>➢ 子どもと一緒に考える</p> <p>➢ 実現できた嬉しさを感じられるように言葉掛けをしたり、手助けをしたりする など</p> <p>○友達と思いや考えを出し合い、かいたり、つくったりすることを楽しめるように…。②</p> <p>【動】 その子なりの発想や工夫、思いを大切に、かいたり、つくったりしやすい環境を整える。</p> <p>【続】 友達とイメージを合わせながら、かいたり、つくったりすることが楽しいと感じられるように関わる。</p>				数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
絵本	<p>○いろいろな絵本や物語にふれる中で見る楽しさや、想像する楽しさを感じられるように…。①</p> <p>【動】 いろいろな絵本や物語に出会う機会をもつ。</p> <p>【続】 いろいろな絵本を自分で選んだり、見たりする姿やその子なりの楽しみ方を見守る。</p> <p>・絵本を通して勉強するわけではありません。絵本を好きになることが大切です。</p> <p>・絵本の楽しみ方、感じ方は一人一人異なります。</p> <p>・絵本を読み終わった後の「余韻」を楽しみましょう。</p> <p>・いろいろな絵本に出会うことができるようにするには、どのように環境を工夫する?</p> <p>➢ 手に取りやすい場所に絵本を置く</p> <p>➢ (おすすめの絵本など) 興味を引くような掲示をする など</p> <p>➢ 家庭環境に違いがあることを踏まえながらも、家庭での読み聞かせのよさを啓発しよう。</p> <p>○自分達なりの方法で表現することを楽しめるように…。③</p> <p>【動】 自分達なりに表現して遊んでいる姿を認める。</p> <p>【続】 友達の表現にも気付くことができるよう、関わったり、さりげなく援助したりする。</p> <p>・自分なりに表現している姿を認めてもらう経験や満足感が意欲につながります。</p> <p>・関わったり、援助したりするタイミングが大切です。</p>				豊かな感性と表現
音楽	<p>○友達と聴いたり、歌ったり、踊ったり、楽器を鳴らしたりする心地よさを感じ、楽しめるように…。④</p> <p>【動】 いろいろな音楽に親しめるような環境をつくる。</p> <p>【続】 友達と聴いたり、歌ったり、踊ったり、楽器を鳴らしたりする姿を見守ったり、保育者も一緒に楽しんだりする。</p> <p>・子ども達が「音楽って楽しいな」って思えるのはどんなとき?</p> <p>➢ さまざまな音楽を聴く、楽器が使いたいときに使える、自由に歌ったり踊ったりできる場がある など</p> <p>・「音楽が楽しい!」と感じさせるような言葉掛けを考えよう。</p> <p>・歌う歌や楽器遊びの選曲のポイントを考えよう。</p> <p>➢ 子どもの好きな曲、歌詞、音の高・低、曲の速度や長さ など</p> <p>・ピアノが苦手なら、他の方法もあるよ。</p> <p>・保育者が笑顔で音楽に親しんでいる姿が大切です。</p>				

## 2 参考資料

### (1) 活用の手引き策定委員会名簿

区分	氏名	役職等 (2022年3月時点)
公立	認定こども園	◎河本 美佳 港認定こども園 園長
	保育園	三輪 純子 西保育園 園長
	認定こども園	吉岡 美和子 合橋認定こども園 園長
	認定こども園	富森 一恵 八条認定こども園 園長補佐
	幼稚園	舟田 和美 寺坂幼稚園 園長補佐
	幼稚園	西神 加奈子 八条認定こども園 主任
私立	保育園	○大木本 世津 テラスハウス保育園 園長
	認定こども園	曾根 紀子 おさかおの こども園 園長
	認定こども園	森戸 弥生 きよたき認定こども園 主任
	保育園	青田 千鶴 蓼川保育園 主任
アドバイザー	奥山 登美子 有識者	
オブザーバー	内海 忠裕 豊岡市教育研修センター所長	
事務局	山本 加奈美 こども育成課 参事	
	仲義 健 こども育成課 主幹兼幼児教育保育指導係長	
	成田 佳寿子 こども育成課 幼児教育指導係 主査	
	富山 佐智恵 こども育成課 幼児教育指導係 指導主事	
	米田 豊美 こども育成課 幼児教育指導係 指導主事	

(2) 活用の手引き策定委員会経過報告

ア 策定委員会の開催状況

	年月日	場 所
第1回	2020年8月5日	豊岡市役所6階 会議室6-1
第2回	2020年9月11日	豊岡市役所3階 庁議室
第3回	2020年9月28日	豊岡市役所5階 会議室5-1
第4回	2020年10月23日	豊岡市役所3階 庁議室
第5回	2020年12月3日	豊岡市役所 豊岡稽古堂 交流室1-1
第6回	2020年12月14日	豊岡市役所5階 会議室5-1
第7回	2021年5月25日	豊岡市役所7階 第3委員会室
第8回	2021年10月14日	豊岡市役所7階 第2委員会室
第9回	2021年11月24日	八条認定こども園（保育参観） 豊岡市役所7階 第3委員会室

イ グループワーキングの開催状況

【0・1・2歳児】

	年月日	場 所
第1回ワーキング	2020年9月18日	テラスハウス保育園
第2回ワーキング	2020年10月14日	豊岡市役所6階 会議室6-1
第3回ワーキング	2020年10月19日	豊岡市役所 豊岡稽古堂 交流室1-4
第4回ワーキング	2020年12月21日	豊岡市役所 豊岡稽古堂 交流室1-2
第5回ワーキング	2021年5月13日	豊岡市役所5階 会議室5-2
第6回ワーキング	2021年6月8日	豊岡市役所 豊岡稽古堂 交流室1-1
第7回ワーキング	2021年7月2日	西保育園（保育参観） 豊岡市役所5階 会議室5-1（協議）
第8回ワーキング	2021年8月3日	豊岡市役所 豊岡稽古堂 交流室1-1
第9回ワーキング	2021年8月19日	きよたき認定こども園（保育参観） 日高振興局 会議室2-1（協議）
第10回ワーキング	2021年10月27日	テラスハウス保育園（保育参観） 豊岡市役所 豊岡稽古堂 交流室3-1（協議）
第11回ワーキング	2021年11月18日	豊岡市役所4階 会議室4-1
第12回ワーキング	2021年12月8日	豊岡市役所6階 会議室6-1
第13回ワーキング	2022年1月6日	豊岡市役所5階 会議室5-1
第14回ワーキング	2022年2月24日	豊岡市役所 豊岡稽古堂 交流室3-2
第15回ワーキング	2022年3月3日	豊岡市役所6階 会議室6-1
第16回ワーキング	2022年3月9日	豊岡市役所 豊岡稽古堂 交流室1-1
第17回ワーキング	2022年3月14日	豊岡市立図書館2階 視聴覚室

【3・4・5歳児】

	年月日	場 所
第1回ワーキング	2020年9月16日	豊岡市役所4階 会議室4-1
第2回ワーキング	2020年10月16日	豊岡市役所6階 会議室6-1
第3回ワーキング	2020年11月5日	豊岡市役所 豊岡稽古堂 交流室3-1
第4回ワーキング	2021年5月10日	豊岡市役所 豊岡稽古堂 交流室1-4
第5回ワーキング	2021年5月17日	豊岡市役所 豊岡稽古堂 交流室1-4
第6回ワーキング	2021年6月14日	豊岡市役所 豊岡稽古堂 交流室3-2
第7回ワーキング	2021年6月29日	合橋認定こども園（保育参観及び協議）
第8回ワーキング	2021年7月16日	豊岡市役所6階 会議室6-1
第9回ワーキング	2021年8月10日	八条認定こども園（保育参観） 豊岡市役所4階 会議室4-1（協議）
第10回ワーキング	2021年10月14日	おさかおの こども園（保育参観）
第11回ワーキング	2021年10月25日	蓼川保育園（保育参観） 日高健康福祉センター 会議室（協議）
第12回ワーキング	2021年11月11日	豊岡市役所4階 会議室4-1
第13回ワーキング	2021年12月9日	豊岡市役所 豊岡稽古堂 交流室3-2
第14回ワーキング	2021年12月27日	豊岡市役所5階 会議室5-1
第15回ワーキング	2022年1月11日	豊岡市役所 豊岡稽古堂 交流室1-1
第16回ワーキング	2022年2月10日	豊岡市役所6階 会議室6-1
第17回ワーキング	2022年2月18日	豊岡市役所5階 会議室5-1
第18回ワーキング	2022年3月2日	おさかおの こども園
第19回ワーキング	2022年3月8日	豊岡市役所6階 会議室6-1
第20回ワーキング	2022年3月10日	豊岡市役所 豊岡稽古堂 交流室3-1
第21回ワーキング	2022年3月15日	豊岡市役所4階 会議室4-1
第22回ワーキング	2022年3月18日	豊岡市役所6階 会議室6-2
第23回ワーキング	2022年3月22日	豊岡市役所 豊岡稽古堂 交流室1-1・4
第24回ワーキング	2022年3月23日	豊岡市役所5階 会議室5-1
第25回ワーキング	2022年3月24日	豊岡市役所 豊岡稽古堂 交流室1-2

### (3) 作成経緯と位置づけ

#### ア 趣旨

市では、これまでに、就学前から小学校への確かな接続を図るため「育てたい5つの力 すくすくプログラム（以下、「すくすくプログラム」）～指導の手引き～」(2009(平成21)年度)を、また、市内いずれの就学前施設においても質の高い幼児教育・保育が実践されるよう「豊岡市の就学前教育・保育計画『スタンダード・カリキュラム』」(以下、「スタンダード・カリキュラム」)(2010(平成22)年度)を策定し、これらを活用しながら豊岡の就学前教育・保育の質の向上に努めてきました。

このたび、2020(令和2)年2月、関係3法令の改訂趣旨を踏まえた「第2次スタンダード・カリキュラム」を策定したことから、「すくすくプログラム～指導の手引き～」についても改訂し、豊岡の幼児教育・保育の一層の充実を図ることとしました。

#### イ 「すくすくプログラム指導の手引き」と「第2次スタンダード・カリキュラム」との位置づけ

豊岡の幼児教育・保育の一層の充実を図るには、「第2次スタンダード・カリキュラム」と、今回改訂する「すくすくプログラム～指導の手引き～」との位置づけを明確にし、これまで以上に内容を充実させるとともに、より活用されやすいものにしなければなりません。

「第2次スタンダード・カリキュラム」と「すくすくプログラム～指導の手引き～」は、作成された経緯や時期は異なるものの、いずれも①子どもの育ちや姿、学びを連続して捉えたものであること、②国の関係法令を踏まえたものであること、③小学校との接続を図るものであること、④乳幼児期の教育・保育の質をより一層高めようとするものであることから、具体的な掲載事項に若干の相違点があるものの、その方向性や性質はほぼ同様のものと捉えることが出来ます。

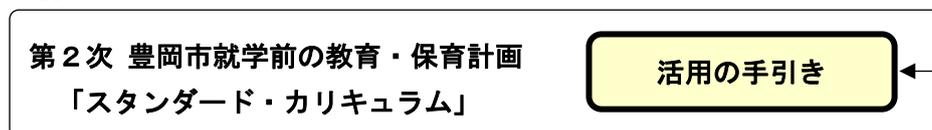
さらに、「第2次スタンダード・カリキュラム」は、幼児教育において一体的に育みたい資質・能力（「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」）に関連付いた内容となっており、教育課程の側面からも、あらためて小学校教育との接続を強化していることから、小学校への確かな接続を図るために作成した「すくすくプログラム」の趣旨も包含した内容となっています。

これらのことを踏まえ、今回改訂する「すくすくプログラム～指導の手引き～」を「第2次スタンダード・カリキュラム」の「活用の手引き」として位置づけ、同カリキュラムをより活用しやすくするとともに、保育の質をさらに向上させるものとして作成することとしました。

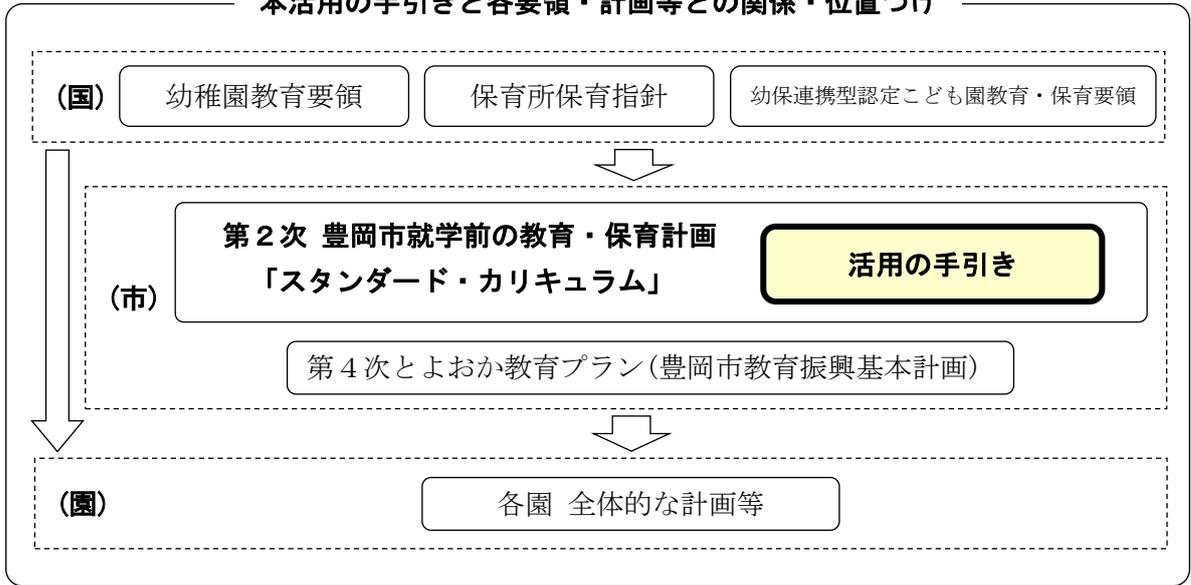
#### 【変更前】



#### 【変更後】



本活用の手引きと各要領・計画等との関係・位置づけ



## ～「活用の手引き」の活用にあたって（おわりに）～

本手引きは、保育現場で、第2次スタンダード・カリキュラム(以下「カリキュラム」)を、より有効に活用していただけるよう作成したものです。

そして、一人一人の先生方が『考える』保育を実践できるよう「カリキュラムの内容を分かりやすくする」、「保育の方向性が分かる」、「年齢ごとの関わりのポイントが分かる」、「日々の保育に使える」などのキーワードをもとに作成しており、保育の考え方やヒントがたくさん詰まったものになっています。

ところで、本手引きには、各年齢のカリキュラム内容のすべてを取り上げることはせず、特に大切にしたい、もしくは詳しく解説したい内容項目だけを抽出しました。

また、一つ一つの項目には、保育者がどのような願い(保育の方向性)や意図(教育的意図)をもって環境構成や援助をすべきかを、保育のヒントとともに示しました。

保育のヒントには、子どもの視線、しぐさ、表情等をよく見て、保育者の関わりについてぜひ考えていただきたい視点などを示しており、具体的な保育方法や手段などについては記述していません。

抽出していないカリキュラムの内容や、記述してない保育方法や手段などについては、ぜひ、日々の保育カンファレンスや園内研修の際に、同僚や先輩の先生方と一緒に考えてみてください。

そして、それぞれの先生方が、目の前の子どもの姿からその子にあった保育を実践する「考える保育者」となり、保育をより一層楽しんでいただきたいと思います。

第2次スタンダード・カリキュラムと本手引きをセットで手に取り、子どもの育ちや保育の方向性、関わりについて、初任の先生から経験豊かな先生までと一緒に保育を語る一助として、また、子どもに向き合う際のツールとして活用していただけると幸いです。

最後になりましたが、作成にあたりアドバイザーとしてご指導いただきました奥山登美子先生をはじめ、時間をかけ、一つ一つ丁寧に考えて下さった策定委員の皆様に心から深く感謝申し上げます。

2022(令和4)年 11月

豊岡市教育委員会 こども育成課



第2次 豊岡市就学前の教育・保育計画「スタンダード・カリキュラム」  
～ 活用の手引き ～

発行年月 2022(令和4)年11月  
編集発行 豊岡市教育委員会 こども育成課  
住 所 〒668-8666 兵庫県豊岡市中央町2番4号  
T E L 0796-29-0053 F A X 0796-29-0054

